

交通環境学習実施状況調査（アンケート調査）

交通エコモ財団では、平成 28 年度より自治体における交通担当部署を対象としたアンケート調査を実施し、各地における交通環境学習の実態調査を実施している。また、平成 30 年度からは教育委員会向けにもアンケート調査を実施している。

今年度も同様に自治体及び教育委員会向けのアンケート調査を実施した。

1. 自治体向けアンケート

1.1 調査の目的

全国の自治体における交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

1.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 4 年 10 月 17 日（月）～令和 4 年 11 月 18 日（金）

1.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 403 件（46.8%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	317	78.7
FAX		45	11.2
メール		41	10.2
総計	862	403	100.0

＜参考＞過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査と同様

	令和3年度調査		令和2年度調査		令和元年度調査	
	回収数(件)	構成比(%)	回収数(件)	構成比(%)	回収数(件)	構成比(%)
インターネット	347	78.2	282	68.6	254	59.3
FAX	44	9.9	62	15.1	87	20.3
メール	53	11.9	67	16.3	87	20.3
有効回収件数	444件 回収率51.5%	100.0	411件 回収率47.8%	100.0	428件 回収率49.8%	100.0

1.4 調査項目及び調査票の設計

(1) 調査対象

アンケート調査票は、昨年度と同様、都道府県と市でA, Bの2種類に区別し、さらに、回答のしやすさを考慮して、昨年度調査での交通環境学習の取組みの有無により、質問の内容を下記の「内容1」、「内容2」にそれぞれ区分した。そのため、全部で4種類の調査票となっている。

内容1：令和3年度調査で交通環境学習の取組みが確認された自治体

内容2：令和3年度調査で交通環境学習の取組みが確認されなかった自治体

(回答があったが未実施、未回答)

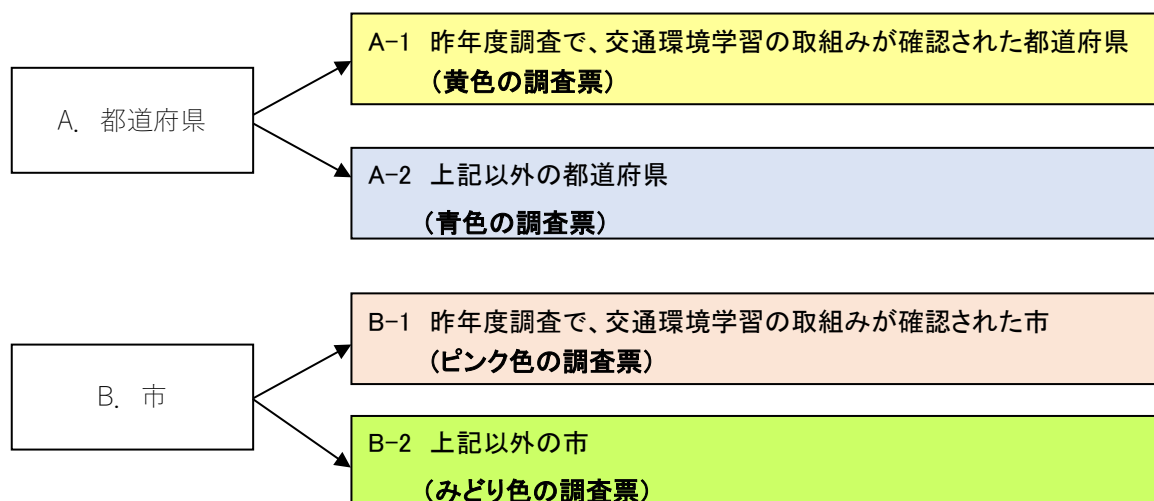


図 アンケートの構成

令和3年度調査の結果から、各調査票は以下の通り配布した。

表 各アンケート調査票の配布件数

令和3年度調査 問1(※)に対する選択肢	都道府県		市区	
	R3回答数	調査票	R03回答数	調査票
1. 実施した	7件	A1(7枚)	99件	B1(99枚)
2. 過去に実施したことはあるが、 昨年度は実施しなかった	4件	A2(40枚)	67件	B2(716枚)
3. 例年は実施していたが、昨年度 は新型コロナウイルスの影響の ため実施しなかった	5件		60件	
4. これまで実施したことがない	10件		188件	
不明・無回答	0件		4件	
未回収	21件		397件	
合計	47件	47枚	815件	815枚

(※) 問1: 貴自治体では昨年度(令和2年度)に、「交通環境学習」を実施しましたか?

(2) 調査項目

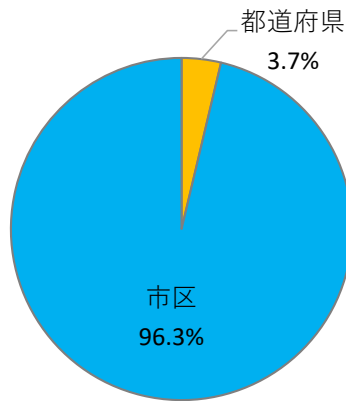
アンケート調査項目は、昨年度に引き続き、問1の昨年度の「交通環境学習」の実施状況および問4の今年度の「交通環境学習」の取組み状況に関する設問について、新型コロナウイルスの影響について確認する選択肢を設定した。

また、問4で、今年度は「交通環境学習」に取組まない、または取り組むかわからないと回答した自治体が回答対象の副問4.3については、取組まない、または取り組むかわからない理由について確認する設問とした。

1.5 調査結果

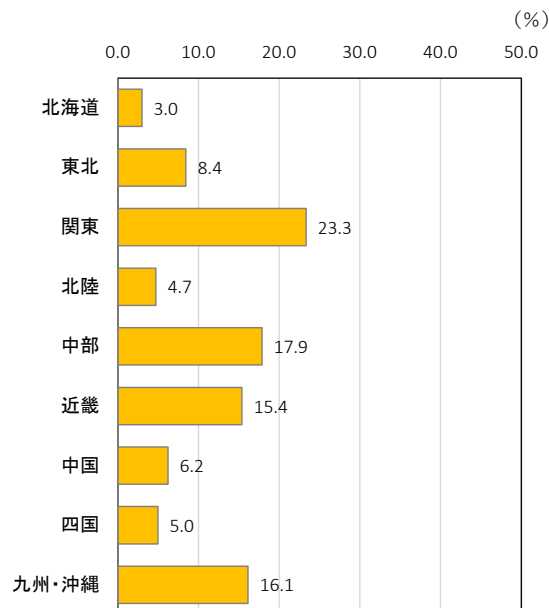
■回答者について

- 「都道府県」から15件（構成比3.7%）、「市区」から388件（構成比96.3%）の回答を得た。
- 回答票の構成比を地域別に見ると、「関東」が23.3%と最も多く、次いで「中部」が17.9%となっている。
- 人口規模別に見ると、「10万人未満」が56.8%と最も多く、次いで「10万人以上20万人未満」が18.6%、「20万人以上50万人未満」が15.1%となっている。



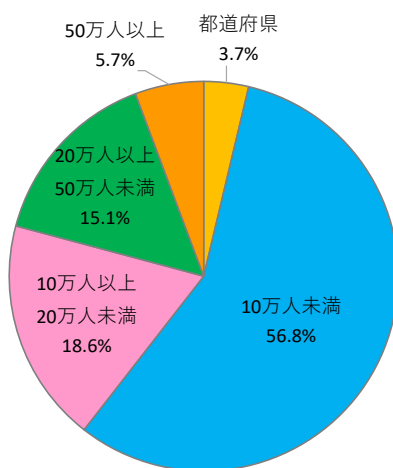
	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	15	3.7	26	5.9
市区	388	96.3	418	94.1
合計	403	100.0	444	100.0

図 回答自治体



	今回調査		R03 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	12	3.0	15	3.4
東北	34	8.4	39	8.8
関東	94	23.3	110	24.8
北陸	19	4.7	24	5.4
中部	72	17.9	83	18.7
近畿	62	15.4	58	13.1
中国	25	6.2	35	7.9
四国	20	5.0	19	4.3
九州・沖縄	65	16.1	61	13.7
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	403	100.0	444	100.0

図 地方種別



	今回調査		R03 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	15	3.7	26	5.9
10万人未満	229	56.8	249	56.1
10万人以上 20万人未満	75	18.6	76	17.1
20万人以上 50万人未満	61	15.1	71	16.0
50万人以上	23	5.7	22	5.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	403	100.0	444	100.0

図 人口規模別

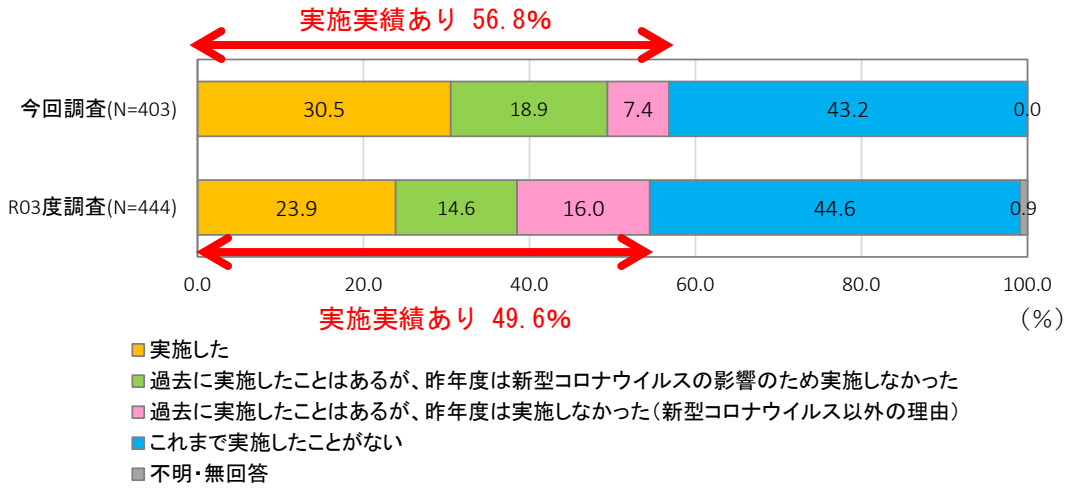
(1) 「交通環境学習」の実施状況

1) 「交通環境学習」の実施

① 「交通環境学習」の実施

問1 貴自治体では昨年度（令和3年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

- 交通環境学習の実施状況は、「実施した」が30.5%で昨年度より6.6ポイント増加している。
- 実施実績がある自治体は56.8%で、昨年度調査と比較すると7.2ポイント増加している。
- 地方別に見ると、6割以上の自治体に実施実績があるのは、北陸（63.2%）、中部（69.4%）、近畿（67.7%）である。
- 都道府県の実施率は73.3%、市区の実施率は56.2%となっており、市区について人口規模別にみると、人口規模が大きいほど実施率が高く、50万人以上の自治体では82.6%となっている。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	123	30.5	106	23.9	174	40.7
過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった	76	18.9	65	14.6	-	-
過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった（新型コロナウイルス以外の理由）	30	7.4	71	16.0	54	12.6
これまで実施したことがない	174	43.2	198	44.6	200	46.7
不明・無回答	0	0.0	4	0.9	0	0.0
合計	403	100	444	100.0	428	100.0
実施したことがある	229	56.8	242	54.5	228	53.3

図「交通環境学習」の実施

<参考>調査票ごとの回答件数

	合計		A-1		A-2		B-1		B-2	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	123	30.5	2	66.7	3	25.0	59	89.4	59	18.3
過去に実施したことはあ るが、昨年度は新型コロナ ウイルスの影響のため実 施しなかった	76	18.9	1	33.3	4	33.3	3	4.5	68	21.1
過去に実施したことはあ るが、昨年度は実施しな かった(新型コロナウイルス 以外の理由)	30	7.4	0	0.0	1	8.3	4	6.1	25	7.8
これまで実施したことがない	174	43.2	0	0.0	4	33.3	0	0.0	170	52.8
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	403	100.0	3	100.0	12	100.0	66	100.0	322	100.0
実施したことがある	229	56.8	3	100.0	8	66.7	66	100.0	152	47.2

A-1 昨年度調査で、交通環境学習の取組みが確認された都道府県

A-2 上記以外の都道府県

B-1 昨年度調査で、交通環境学習の取組みが確認された市区

B-2 上記以外の市区

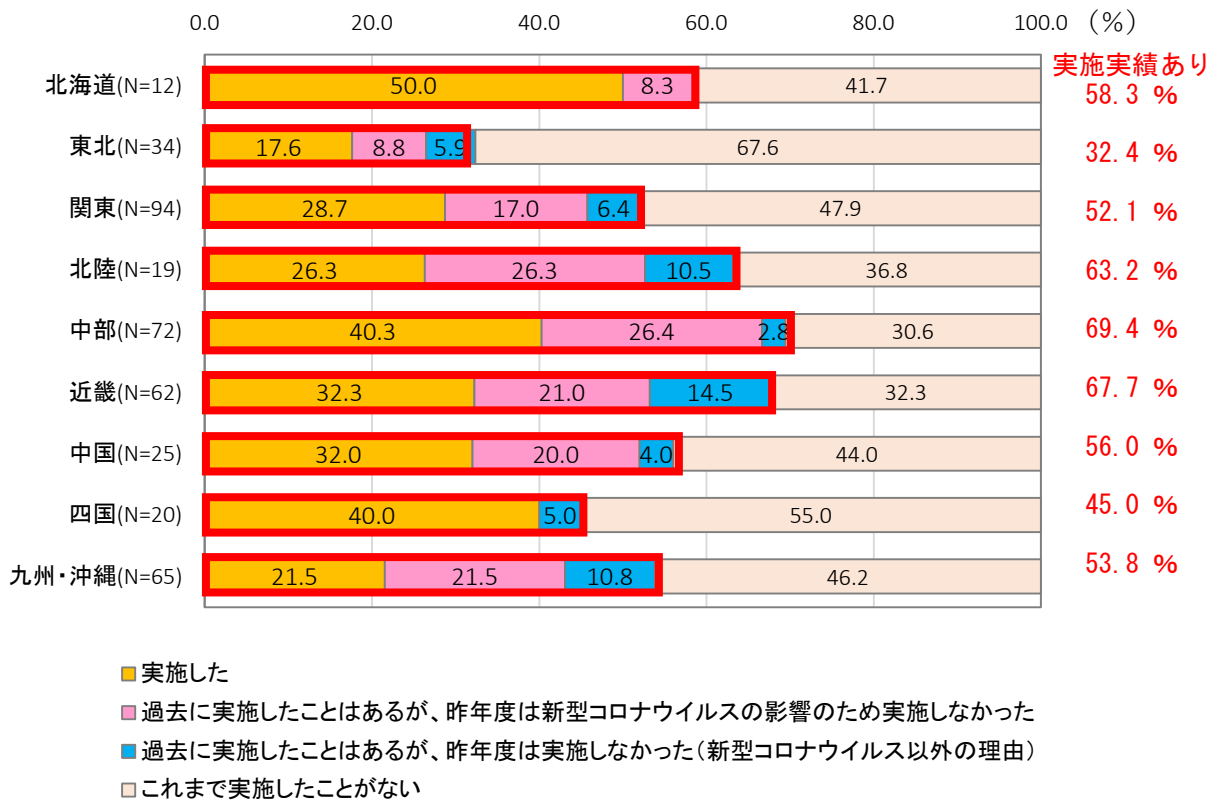


図 地方別「交通環境学習」の実施状況

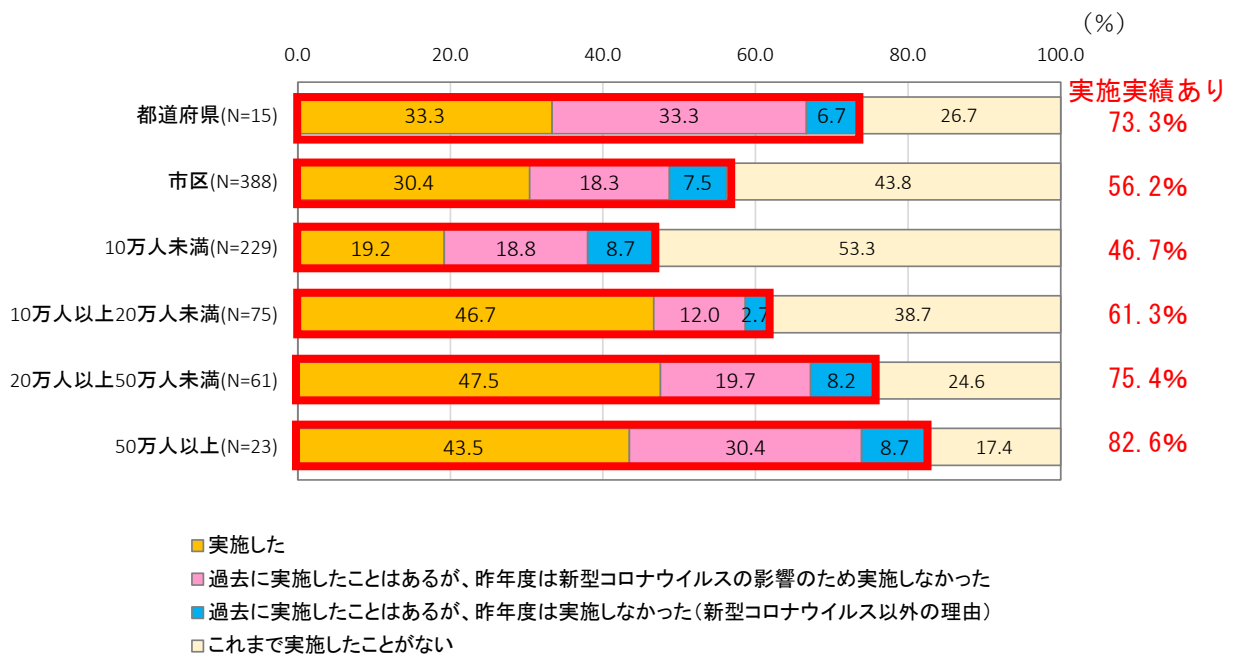


図 人口規模別「交通環境学習」の実施状況

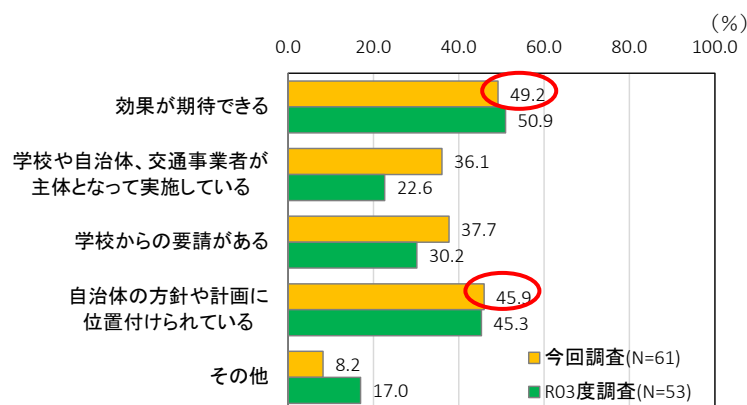
② 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

(昨年度調査で交通環境学習の実施が確認された自治体のみ)の設問:A-1・B-1 調査票)

(問1で「1」(実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？(いくつでも)

○昨年度調査で実施が確認された自治体に、交通環境学習を継続的に実施できる理由をお聞きしたところ、「効果が期待できる」が59.2%と最も高く、次いで「自治体の方針や計画に位置付けられている」が45.9%となっている。「学校からの要請がある」が37.7%、「学校や自治体、交通事業者が主体となって実施している」が36.1%と昨年度に比べ高くなっており、学校や交通事業者の積極的な取り組みが増加したことがうかがえる。また、期待する効果の主な内容としては、「公共交通の利用促進・利用者増」が最も多かった。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数(件)	構成比(%)	回答数(件)	構成比(%)	回答数(件)	構成比(%)
効果が期待できる	30	49.2	27	50.9	41	45.6
学校や市町村、交通事業者が主体となって実施している	22	36.1	12	22.6	34	37.8
学校からの要請がある	23	37.7	16	30.2	25	27.8
自治体の方針や計画に位置付けられている	28	45.9	24	45.3	43	47.8
その他	5	8.2	9	17.0	8	8.9
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	1.1
合計(回答対象件数)	61	100.0	53	100.0	90	100.0

図 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

■ 「1. 期待する効果」の主な内容

分類項目	件数(件)
公共交通の利用促進・利用者増	16
公共交通のことを知ってもらう・興味を持ってもらう	8
利用方法の周知・マナーの向上	2
エコや環境問題に対する意識の啓発	2

■ 「5. その他」の主な内容

- ・要望に応じて実施しているが、希望自体が多くないため対応できる。
- ・交通事業者等の協力が得られている
- ・社交金の活用
- ・各学校で「交通安全教室」の実施及びスクールバスの乗り方(対象校のみ)

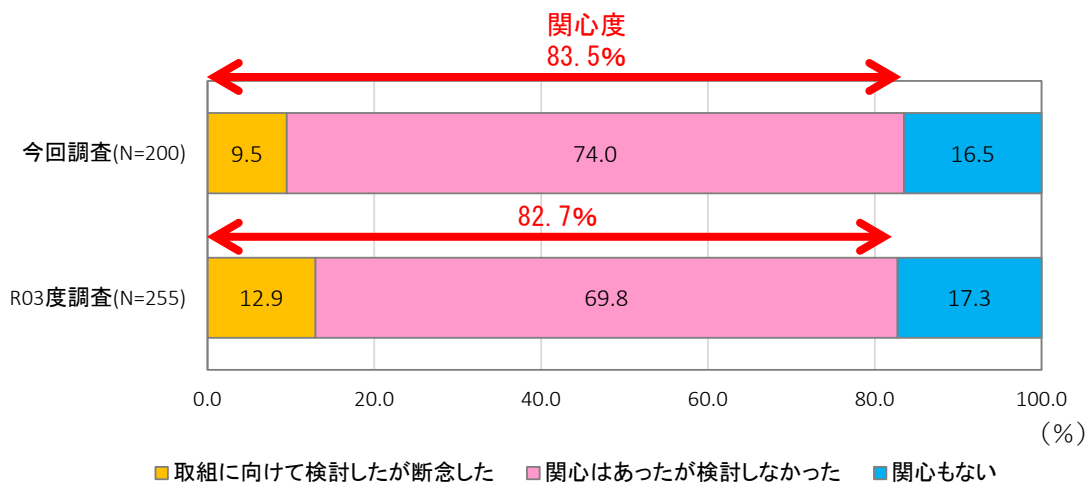
③ 「交通環境学習」に取り組む意向

(昨年度調査で交通環境学習の実施が確認されなかった自治体のみ)の設問:A-2・B-2 調査票)

(問1で「3」(過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった(新型コロナウイルス以外の理由))、「4」(これまで実施したことがない)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」に取り組む意向はありましたか? (1つに〇)

○実施しなかった自治体に、交通環境学習に取り組む意向をお聞きしたところ、「関心はあったが検討しなかった」が74.0%、「関心もない」が16.3%、「取組に向けて検討したが断念した」が9.5%となっている。「取組に向けて検討したが断念した」と「関心はあったが検討しなかった」をあわせると、関心のある自治体は83.5%と8割を超えており、昨年度調査より0.8ポイント増加している。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組に向けて検討したが断念した	19	9.5	33	12.9	24	9.9
関心はあったが検討しなかった	148	74.0	178	69.8	183	75.6
関心もない	33	16.5	44	17.3	34	14.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.4
合計(回答対象件数)	200	100.0	255	100.0	242	100.0
関心がある	167	83.5	211	82.7	207	85.5

図 「交通環境学習」に取り組む意向

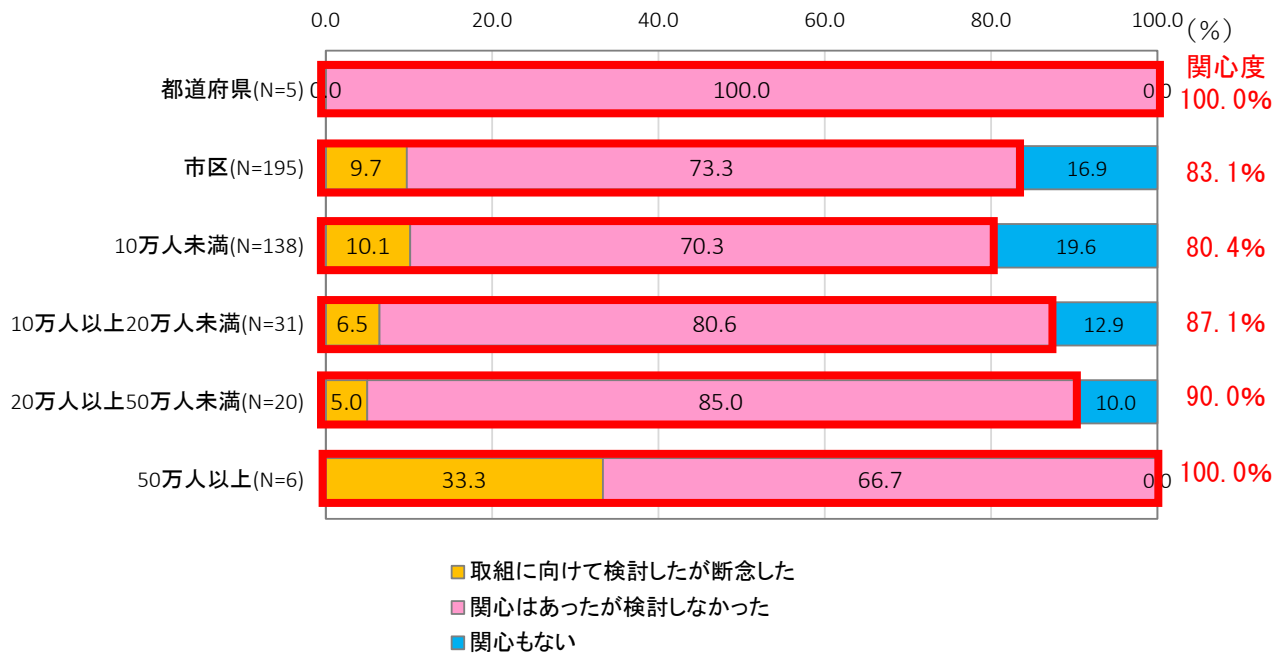


図 自治体規模別「交通環境学習」に取り組む意向

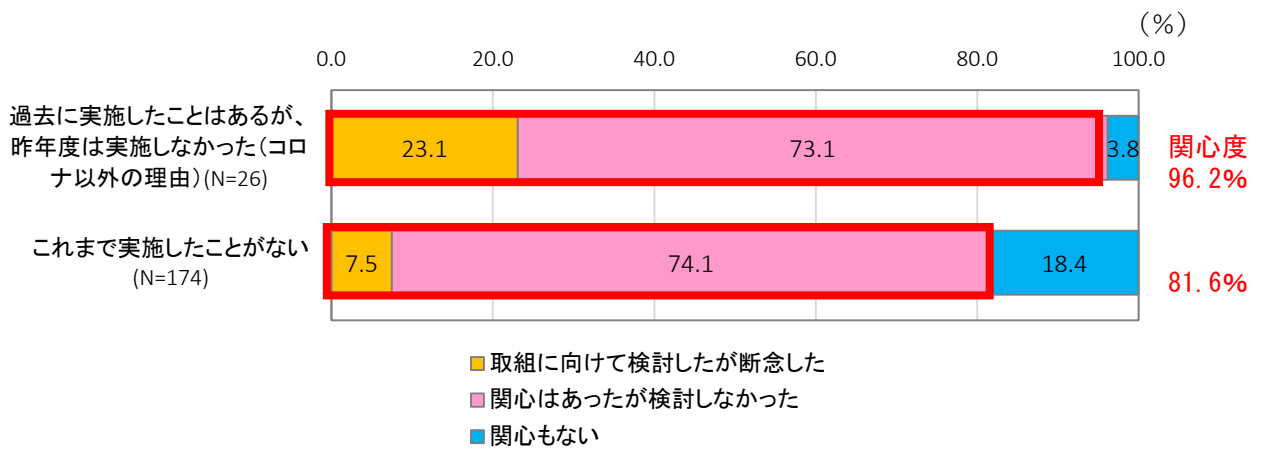


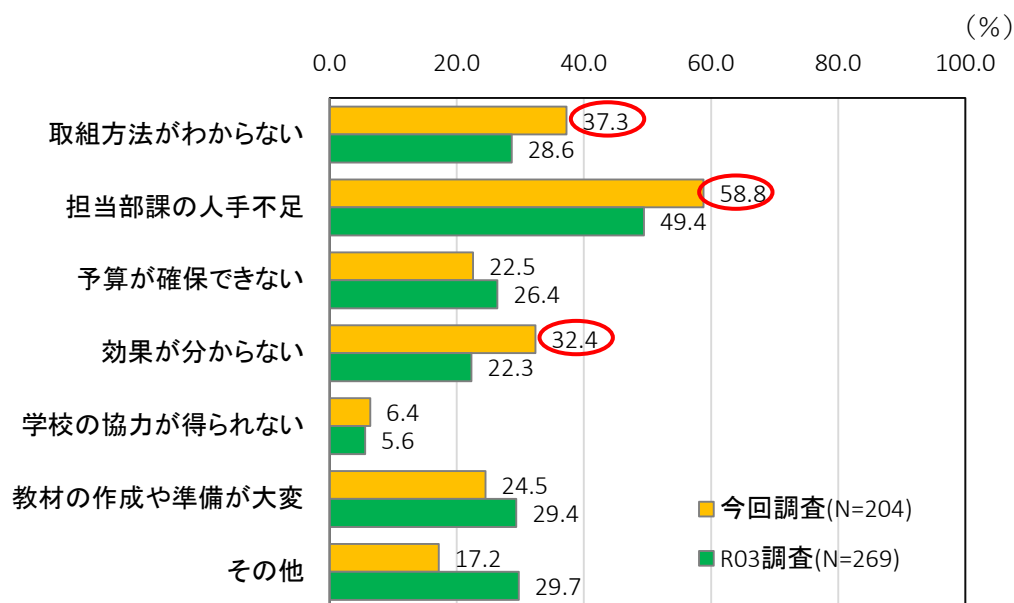
図 実施状況別「交通環境学習」に取り組む意向

④実施しなかった理由

(問1で「3」(過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった(新型コロナウイルス以外の理由))、「4」(これまで実施したことがない)とお答えの方にお伺いします。)

副問 「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？(いくつでも)

○「担当部課の人手不足」が58.8%と回答者の半数以上を占め、次いで「取組方法がわからない」が37.3%、「効果がわからない」が32.4%となっている。また、その他の意見としては、「学校からの依頼、要望がなかった」が最も多く挙げられた。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取組方法がわからない	76	37.3	77	28.6	89	33.8
担当部課の人手不足	120	58.8	133	49.4	129	49.0
予算が確保できない	46	22.5	71	26.4	65	24.7
効果がわからない	66	32.4	60	22.3	75	28.5
学校の協力が得られない	13	6.4	15	5.6	19	7.2
教材の作成や準備が大変	50	24.5	79	29.4	75	28.5
その他	35	17.2	80	29.7	58	18.3
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	6	5.7
合計(回答対象件数)	204	100.0	269	100.0	263	100.0

図 実施しなかった理由

■ 「7. その他」の主な意見

分類項目	件数（件）
学校からの依頼、要望がなかった	7
他の実施主体（学校、交通事業者）が取り組んでいる	6
新型コロナウイルスの影響（休校、イベントの中止）	4
関係機関との調整がうまくいかなかった	5
必要性を感じていない、実施の検討をしていない	2
高齢者・就学前園児を対象とした学習を実施している	2
翌年度以降の取組を検討していた	3
他に優先する業務がある	3
その他	3

○人口規模に関わらず、「担当部課の人手不足」が多く挙げられている。

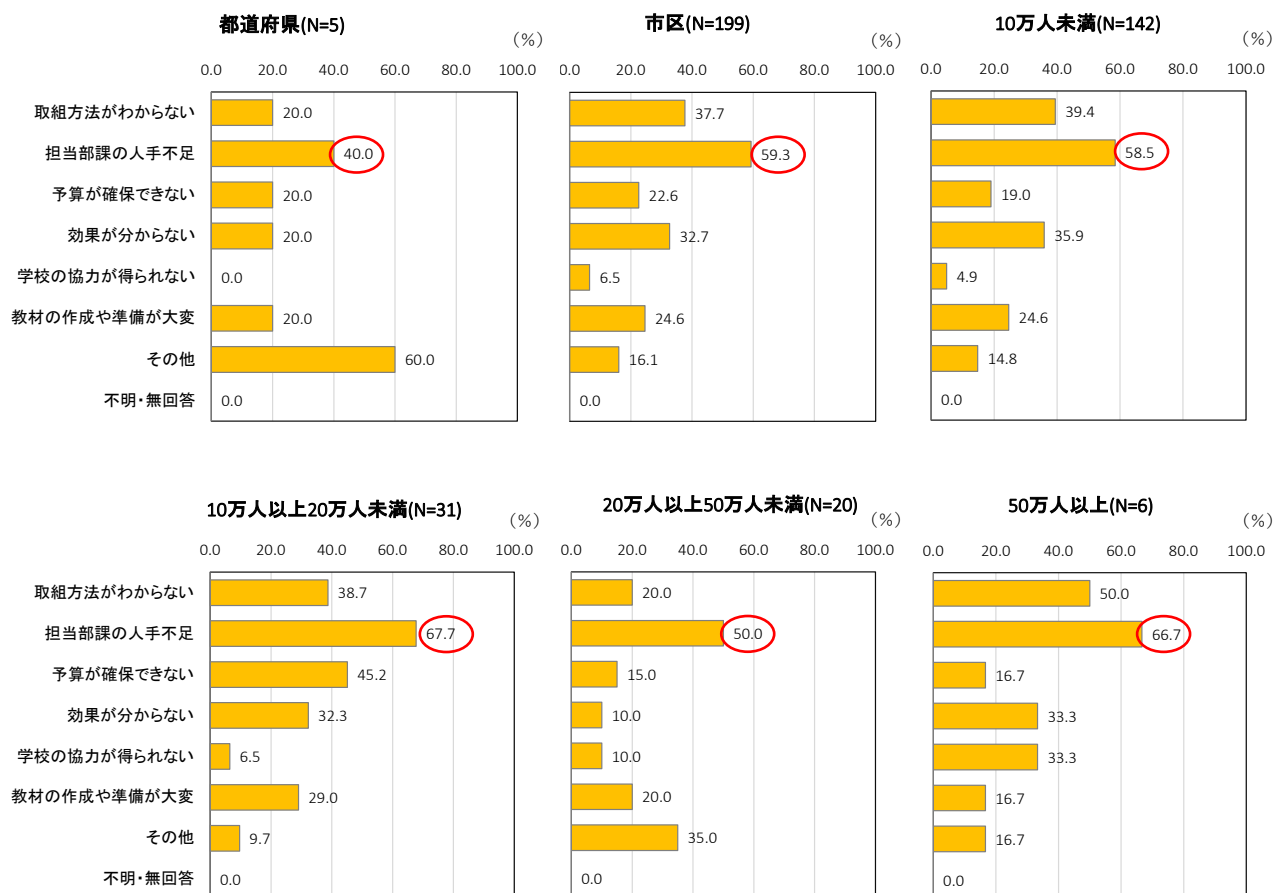


図 人口規模別 実施しなかった理由

【取組む意向別 実施しなかった理由】

- 取組に向けて検討した団体、関心はあったが検討した団体では、「担当部課の人手不足」が多く挙げられていた。
- 関心のない自治体では、「効果がわからない」が多くなっている。

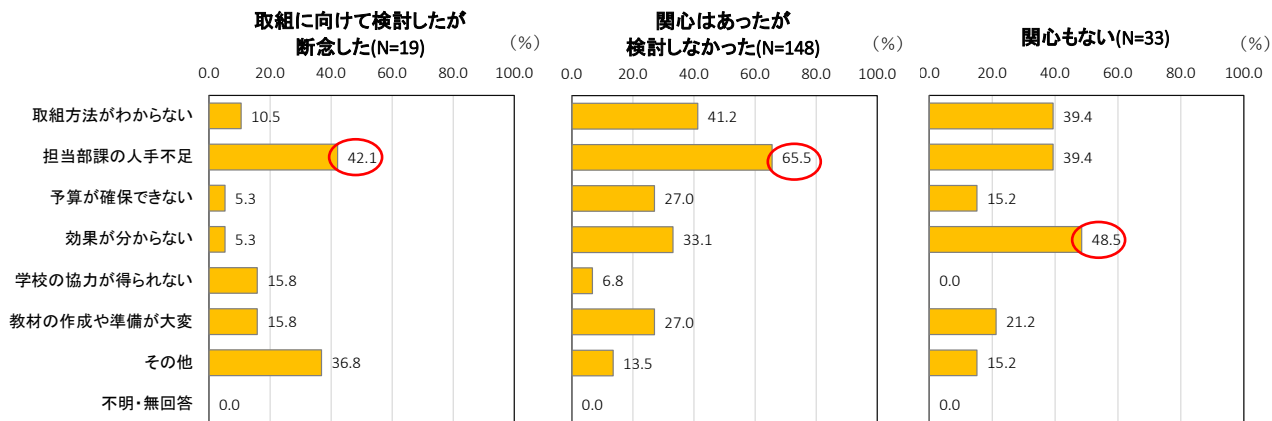


図 取組意向別 実施しなかった理由

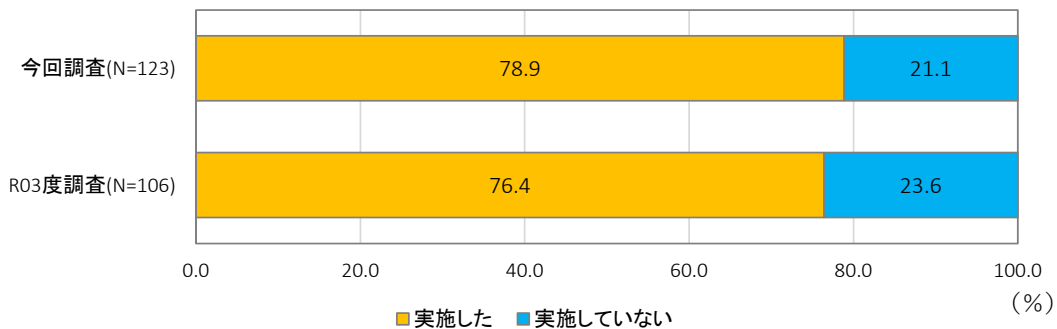
2) 交通環境学習の実施方法

(問1で「実施した」と回答した自治体のみ)

①授業の一環としての「交通環境学習」の実施

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。
 (1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

○学校の授業の一環として「実施した」が78.9%を占める。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
実施した	97	78.9	81	76.4	106	72.6
実施していない	26	21.1	25	23.6	38	26.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	2	1.4
合計 (回答対象件数)	123	100.0	106	100.0	146	100.0

図 「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

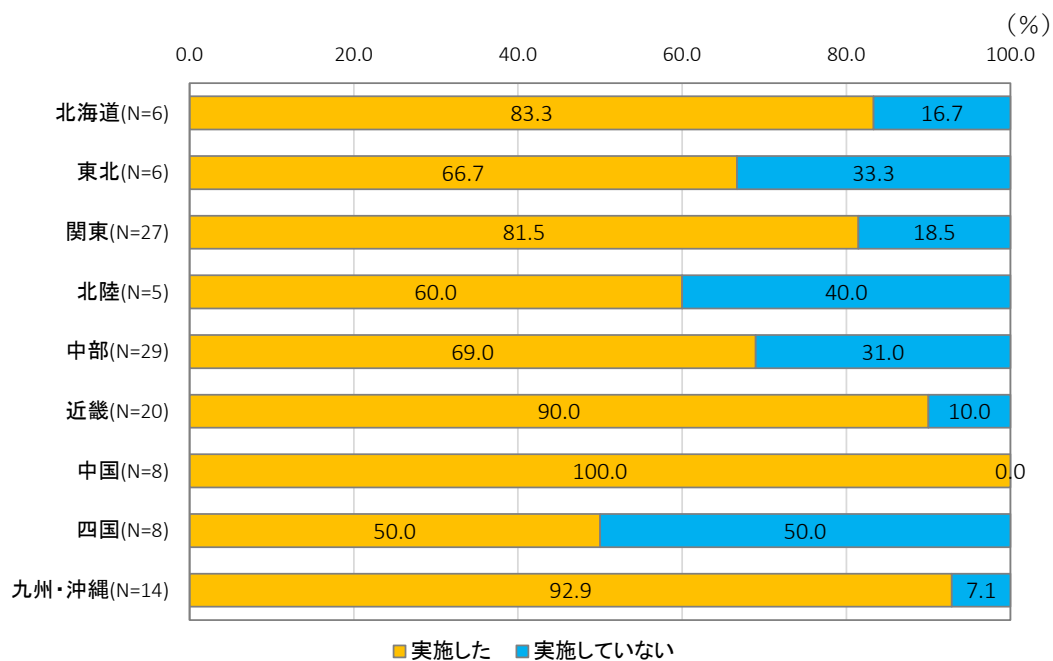


図 地方別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

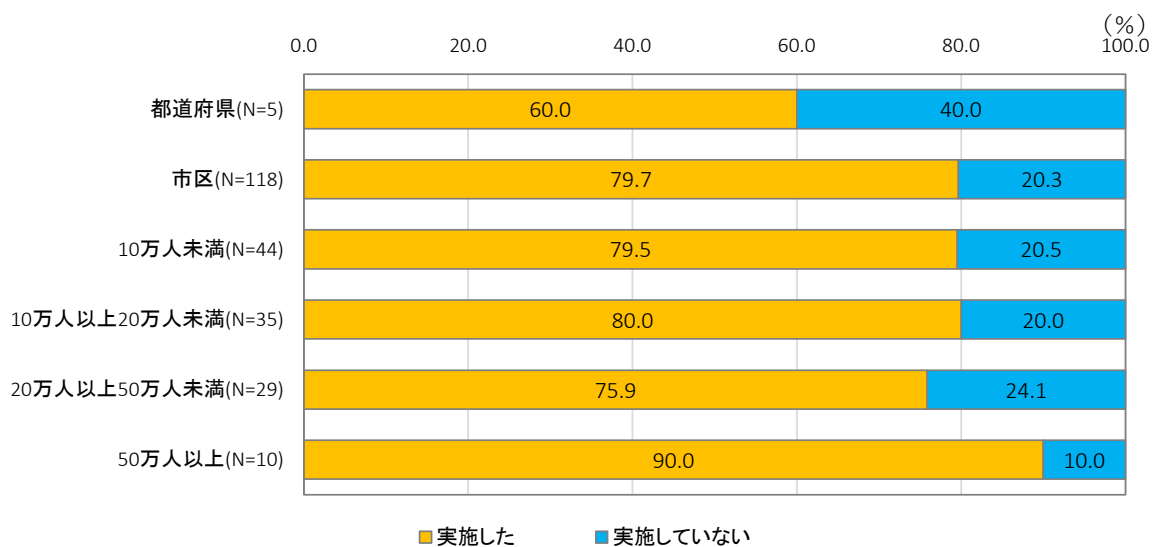


図 人口規模別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

②授業の実施主体

((1) で「1」(学校の授業の一環として実施した)とお答えの方にお伺いします。)

副問 授業の実施主体をお答えください。(いくつでも)

○「出前講座として学校からの依頼に対応」が43.3%と最も多く、次いで「貴自治体が学校に依頼して実施」が29.9%となっている。

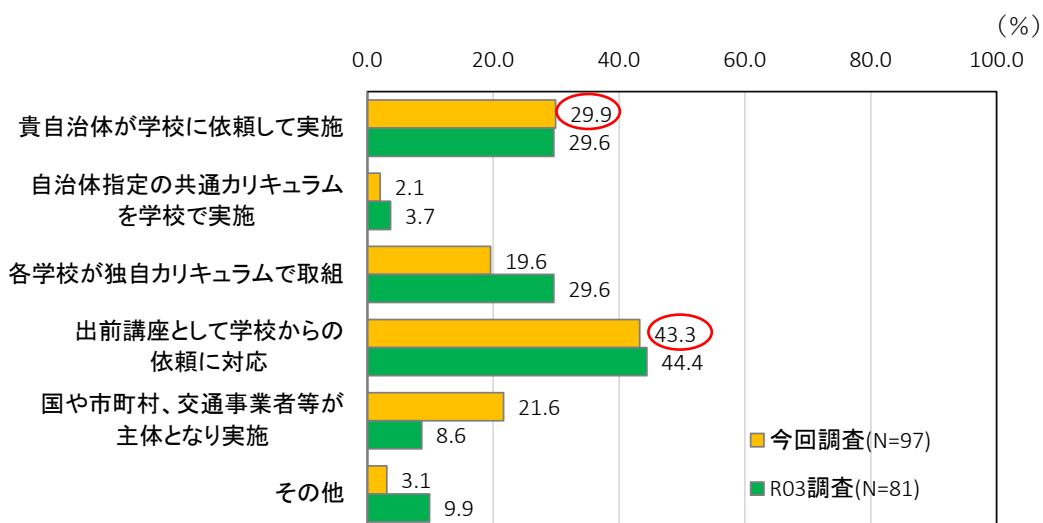


図 授業の実施主体

	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
貴自治体が学校に依頼して実施	29	29.9	24	29.6	41	38.7
自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施	2	2.1	3	3.7	4	3.8
各学校が独自カリキュラムで取組	19	19.6	24	29.6	16	15.1
出前講座として学校からの依頼に対応	42	43.3	36	44.4	46	43.4
国や市町村、交通事業者等が主体となり実施	21	21.6	7	8.6	18	17.0
その他	3	3.1	8	9.9	7	6.6
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象件数)	97	100.0	81	100.0	106	100.0

■「その他」の内容

- ・国と市地域公共交通協議会の共催
- ・歩ける環境推進課と教育委員会が協力して実施
- ・市から市内小学校に募集及び案内し、各小学校からの申請に基づき実施

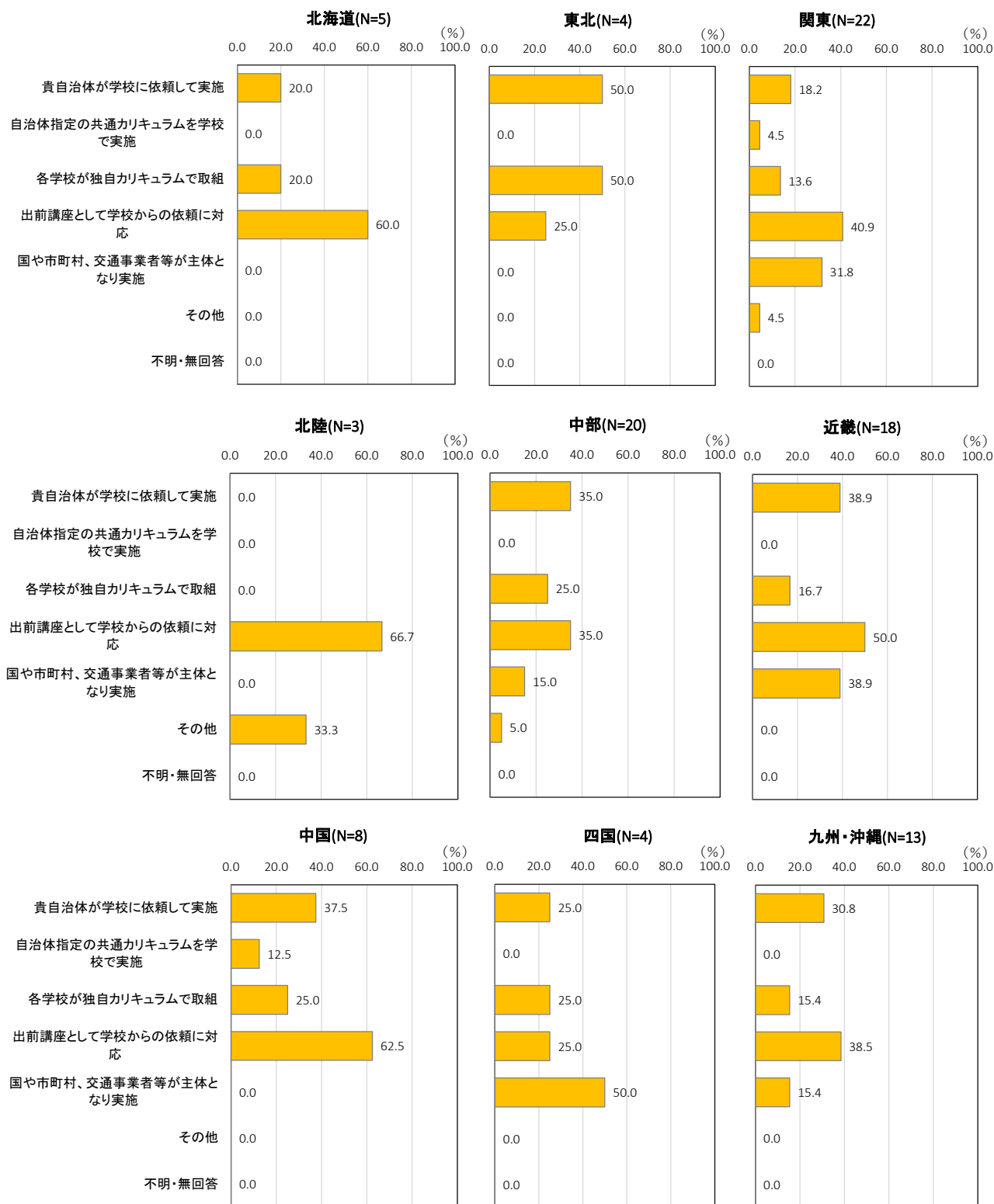
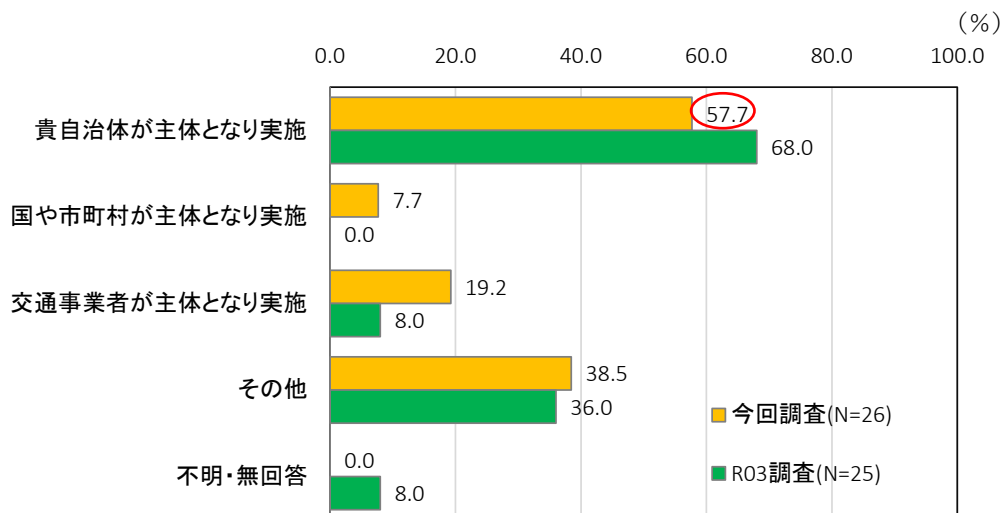


図 地方別 授業の実施主体（複数回答）

④授業以外の実施主体

（（2）（学校の授業以外での形式）でご回答いただいた方にお伺いします。）
 副問 （2）でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。（いくつでも）

○「貴自治体が主体となり実施」が57.7%と最も多くなっている。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
貴自治体が主体となり実施	15	57.7	17	68.0	35	64.8
国や市町村が主体となり実施	2	7.7	0	0.0	3	5.6
交通事業者が主体となり実施	5	19.2	2	8.0	17	31.5
その他	10	38.5	9	36.0	15	27.8
不明・無回答	0	0.0	2	8.0	0	0.0
合計（回答対象件数）	26	100.0	25	100.0	53	100.0

図 授業以外の実施主体

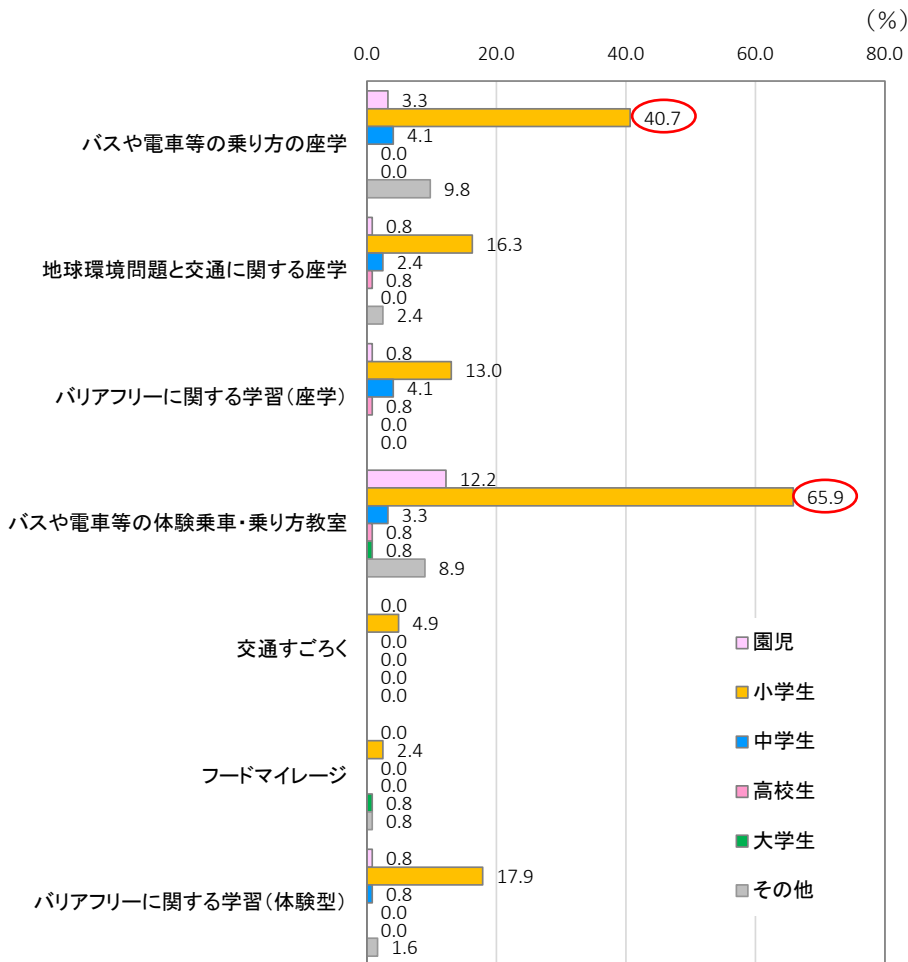
■「その他」の内容

- ・ 地域交通活性化協議会、鉄道の活性化協議会（6件）
- ・ 地域団体、民間団体等（5件）
- ・ 自治体と事業者、イベント会社等と協力（3件）
- ・ 学校（1件）

⑤実施した「交通環境学習」の対象者と内容

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
 (枠内の該当する部分に○をご記入ください)

○小学生を対象とした「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が65.9%と最も多く、次いで「バスや電車等の乗り方の座学」が40.7%となっている。園児やその他を対象とした「体験乗車・乗り方教室」「バスや電車等の乗り方の座学」も多くなっている。



	回答者数 (件)							構成比 (%)									
	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	4	50	5	0	0	12	66	123	3.3	40.7	4.1	0.0	0.0	9.8	53.7	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	1	20	3	1	0	3	98	123	0.8	16.3	2.4	0.8	0.0	2.4	79.7	100.0
	バリアフリーに関する学習(座学)	1	16	5	1	0	0	103	123	0.8	13.0	4.1	0.8	0.0	0.0	83.7	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	15	81	4	1	1	11	36	123	12.2	65.9	3.3	0.8	0.8	8.9	29.3	100.0
	交通すごろく	0	6	0	0	0	0	117	123	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	95.1	100.0
	フードマイレージ	0	3	0	0	1	1	119	123	0.0	2.4	0.0	0.0	0.8	0.8	96.7	100.0
	バリアフリーに関する学習(体験型)	1	22	1	0	0	2	101	123	0.8	17.9	0.8	0.0	0.0	1.6	82.1	100.0
その他	その他 1	7	17	6	11	5	7	99	123	5.7	13.8	4.9	8.9	4.1	5.7	80.5	100.0
	その他 2	1	2	2	1	1	1	120	123	0.8	1.6	1.6	0.8	0.8	0.8	97.6	100.0

図 「交通環境学習」の対象者と内容

■「その他」の内容

- ・ 3年生社会科（市の様子や移り変わり）
- ・ 新幹線開業効果、並行在来線について座学
- ・ 公共交通についての課題授業研究
- ・ 市内の公共交通について
- ・ Youtube 動画
- ・ 自分づくり（キャリア）教育に関する座学
- ・ 移動手段の、よいところ、残念なところを考える
- ・ 公共交通マップの配布、万葉線 1日フリーきっぷの配布
- ・ 座学にて、市の公共交通の現状や運行事業等について説明
- ・ イベント「GOTEMBA BUS FES（ごてんばバスフェス）」の開催
- ・ 地区内での自動運転に関する座学・車両見学
- ・ 謎解きゲーム
- ・ コミュニティバス運行に係る地域住民の取り組み
- ・ 車庫見学（実際に乗車はしていない）
- ・ 市役所の役割（税金、予算、議会など）を通じて、バス交通に関する座学
- ・ イベントを通してバスの乗り方の体験学習やきっかけづくり
- ・ 座学として交通の現状と課題
- ・ 出前講座「新幹線が走る都市（まち）を目指して」
- ・ 電気自動車の見学
- ・ 利用促進について
- ・ 地域を走るバスについての勉強
- ・ 交通エコライフキャンペーン
- ・ 運輸事業者の見学会
- ・ 運賃を無料
- ・ 今後のバス路線について
- ・ 5年生社会科（情報を生かす産業）
- ・ 万葉線無料乗車券の配布
- ・ 地球環境問題と交通に関する試乗会（水素バス体験乗車）

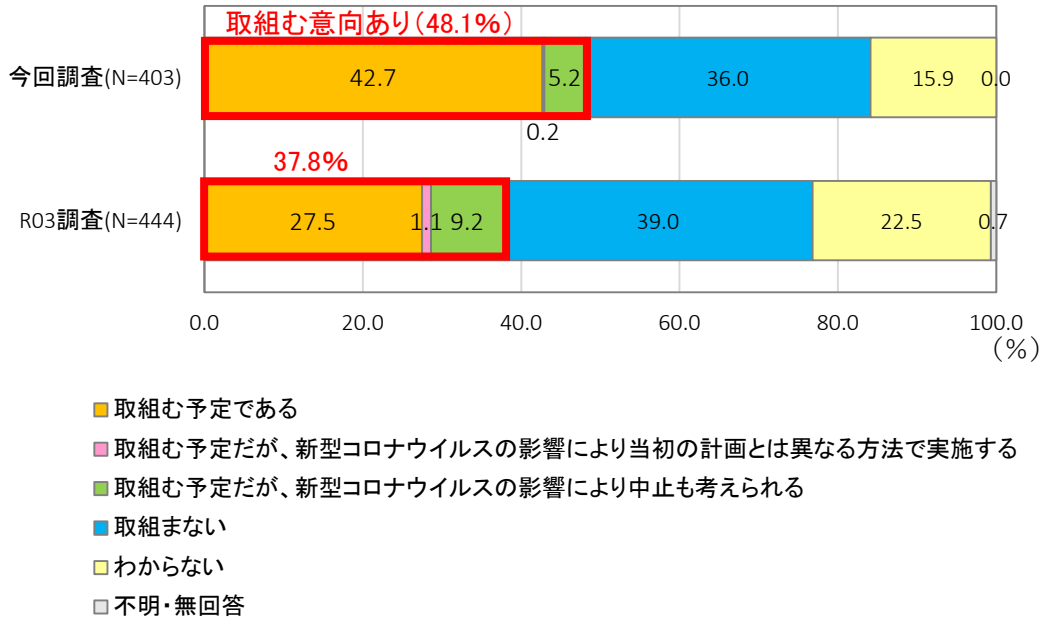
(2) 今後の「交通環境学習」について

① 今後「交通環境学習」に取り組む意向

問4 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和3年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

○「取り組む予定である」が42.7%と昨年度より15.2ポイント増加している。新型コロナウイルスの影響により実施方法の変更や中止の可能性があると回答したのも含めると、約半数の48.1%が取り組む意向があると回答している。



	今回調査		R03 調査		R02 調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である（または、既に実施済み）	172	42.7	122	27.5	53	12.9
取り組む予定（または、既に実施済み）だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施	1	0.2	5	1.1	16	3.9
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる	21	5.2	41	9.2	37	9.0
取組まない	145	36.0	173	39.0	200	48.7
わからない	64	15.9	100	22.5	103	25.1
不明・無回答	0	0.0	3	0.7	2	0.5
合計	403	100.0	444	100.0	411	100.0
取り組む予定あり	168	41.7	168	37.8	106	25.8

図 「交通環境学習」に取り組む予定

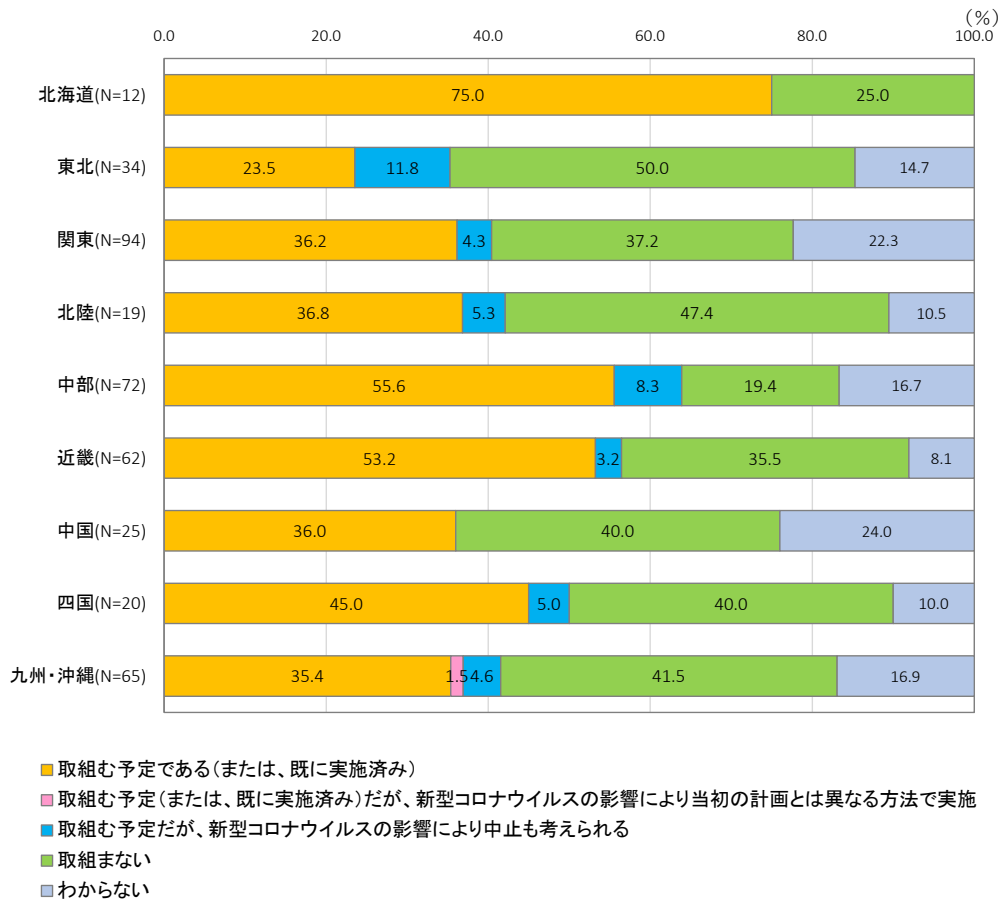


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

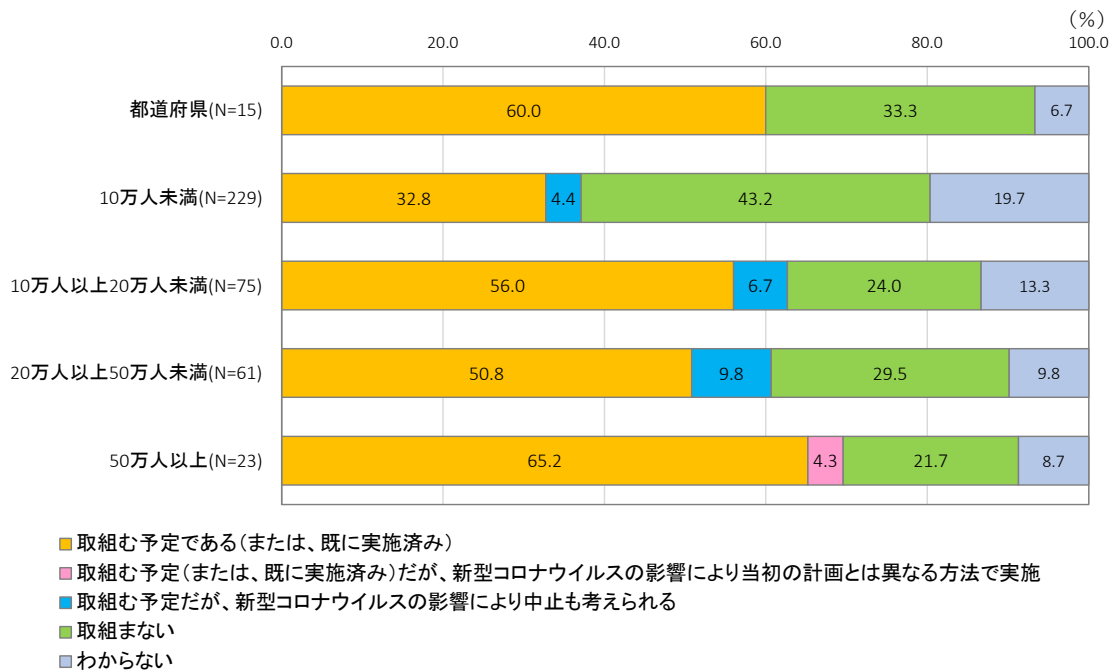


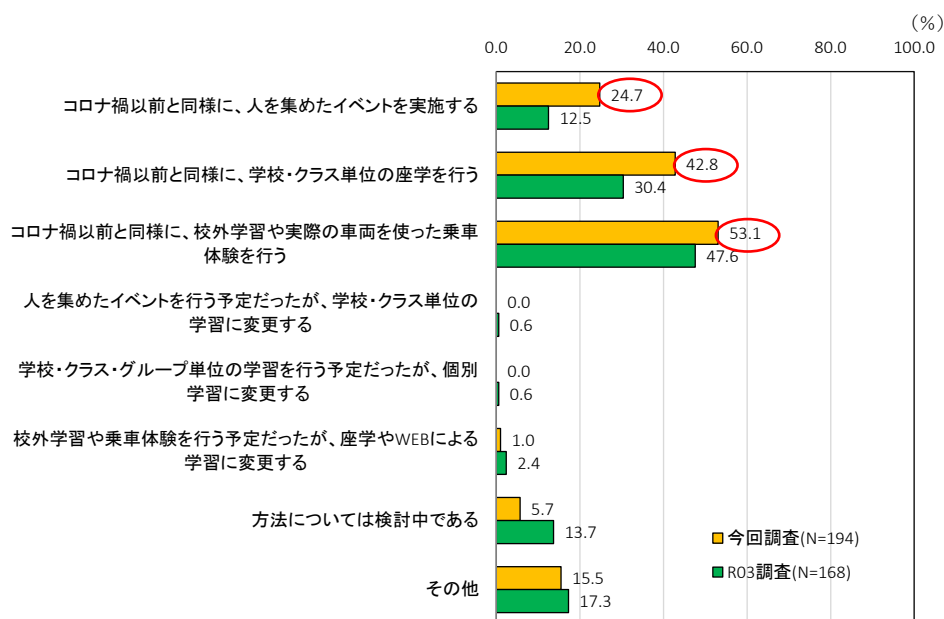
図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

②今年度の「交通環境学習」の取組み方法

副問 4.1 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取組む予定ですか。近いものをお答えください。(いくつでも)

○コロナ禍以前と同様の方法で取組むという回答が多く、「校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う」が53.1%、「学校・クラス単位の座学を行う」が42.8%、「人を集めたイベントを実施する」が24.7%となっている。



	今回調査		R03調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベントを実施する	48	24.7	21	12.5
コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う	83	42.8	51	30.4
コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う	103	53.1	80	47.6
人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する	0	0.0	1	0.6
学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する	0	0.0	1	0.6
校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する	2	1.0	4	2.4
方法については検討中である	11	5.7	23	13.7
その他	30	15.5	29	17.3
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	194	100.0	168	100.0

図 「交通環境学習」の取組方法

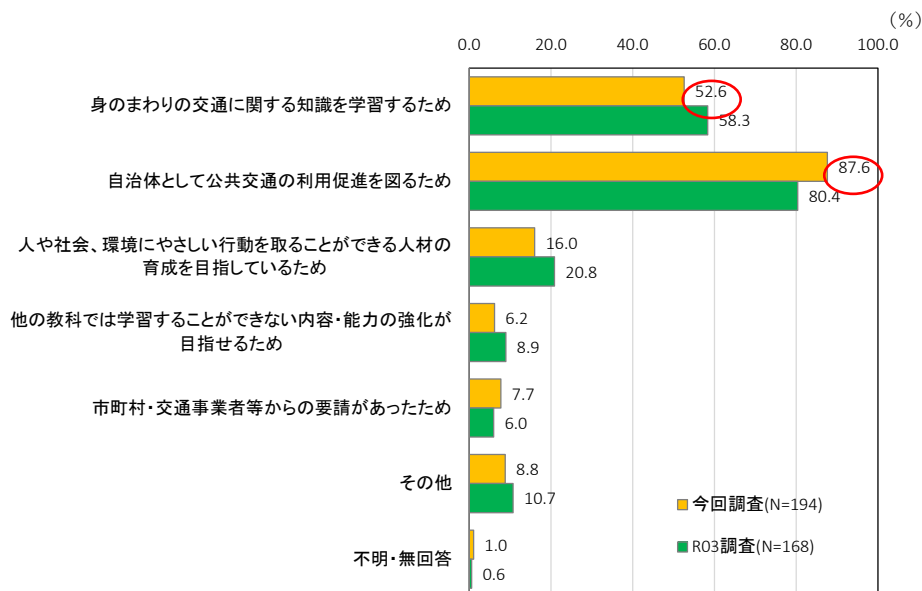
■「その他」の内容

- ・ 小学校にバスや鉄道の運賃箱等の模型を貸し出し、授業の中で乗り方教室を実施してもらった。
- ・ 児童や生徒だけに限定しない市民向けの出前講座を、希望に応じて実施。
- ・ 希望のあった市町村や学校に、バスの乗り方等が記載された副読本を送付
- ・ 説明資料とバスチケットの配布
- ・ コロナ禍以前より分散開催により規模を縮小したイベントを実施
- ・ 昨年度と同様のスタンプラリーイベントを実施。期間中の好きな日にまわってもらうことで分散化。
- ・ 公共交通について WEB による学習
- ・ 事前募集にて人数を制限して実施
- ・ 申込者の意向に沿って出前講座を実施（対面・Web）
- ・ 人数等を縮小して実施

③コロナの影響がある中で「交通環境学習」を実施する理由

副問 4.2 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。
 新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

○「自治体として公共交通の利用促進を図るため」が87.6%と最も多く、次いで「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」が52.6%となった。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
身のまわりの交通に関する知識を学習するため	102	52.6	98	58.3	54	50.9
自治体として公共交通の利用促進を図るため	170	87.6	135	80.4	83	78.3
人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため	31	16.0	35	20.8	20	18.9
他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指すため	12	6.2	15	8.9	11	10.4
市町村・交通事業者等からの要請があったため	15	7.7	10	6.0	8	7.5
その他	17	8.8	18	10.7	21	19.8
不明・無回答	2	1.0	1	0.6	2	1.9
合計	194	100.0	168	100.0	106	100.0

図 「交通環境学習」を実施する理由

■「その他」の内容

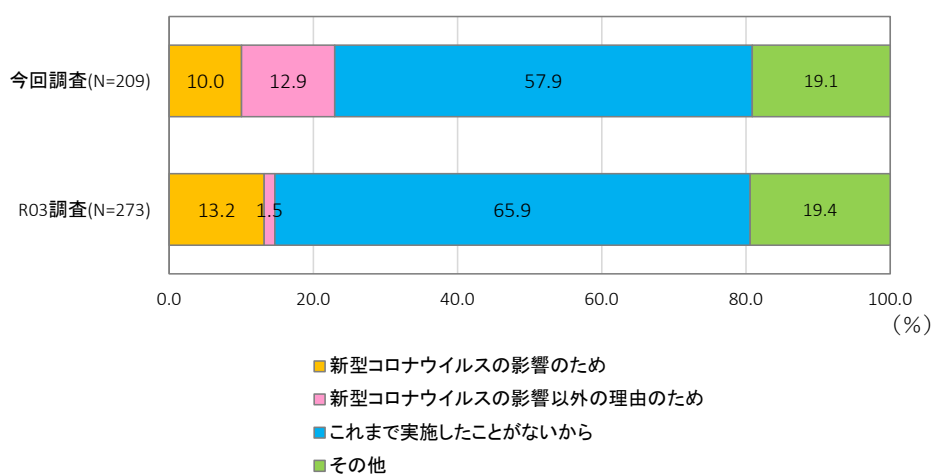
- ・学校からの要請があったため（7件）
- ・感染状況の変化（3件）
- ・利用促進、公共交通の支援（3件）
- ・地域公共交通計画に位置付けられているため

④「交通環境学習」に取り組まない理由

副問 4.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

今年度、「交通環境学習」に取り組まない、または取り組むかわからない理由について教えてください。(1つに〇)

- 今年度の交通環境学習に「取り組まない」または「取り組むかわからない」理由は、「これまで実施したことがない」が57.9%と最も高くなっている。
- 「新型コロナウイルスの影響のため」は10.0%で昨年度より3.2ポイント減少しており、新型コロナウイルスの交通環境学習の実施への影響はやや減っていることがわかる。
- 新型コロナウイルスの影響以外の理由としては、「人手不足、予算の確保」が最も多くなっている。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
新型コロナウイルスの影響のため	21	10.0	36	13.2	55	18.2
新型コロナウイルスの影響以外の理由のため	27	12.9	4	1.5	7	2.3
これまで実施したことがないから	121	57.9	180	65.9	193	63.7
その他	40	19.1	53	19.4	48	15.8
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	209	100.0	273	100.0	303	100.0

図 これまでの交通環境学習の取組み

■「新型コロナウイルスの影響以外の理由」の主な内容

- ・ 人手不足、予算の確保 (11件)
- ・ 関係機関との調整 (5件)
- ・ 効果が期待できない (3件)
- ・ 他の業務を優先 (2件)
- ・ 各学校に任せている (1件)

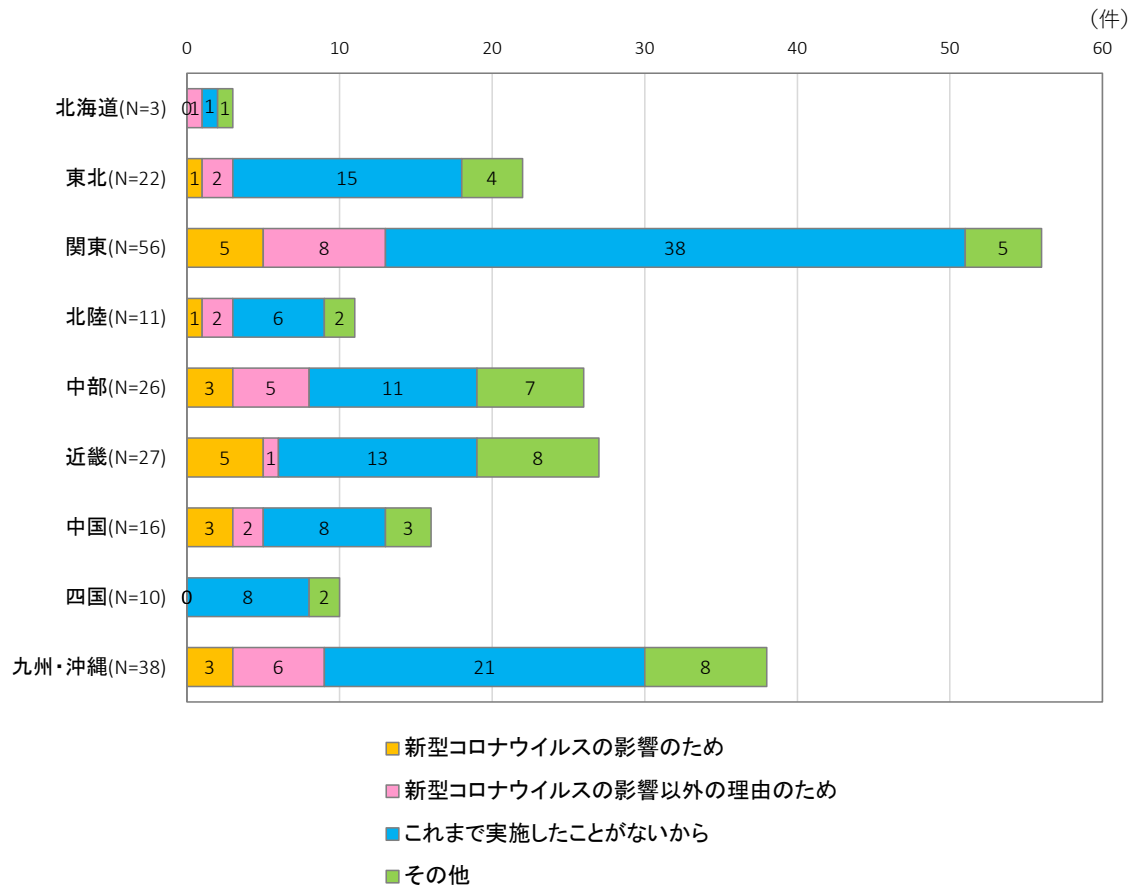


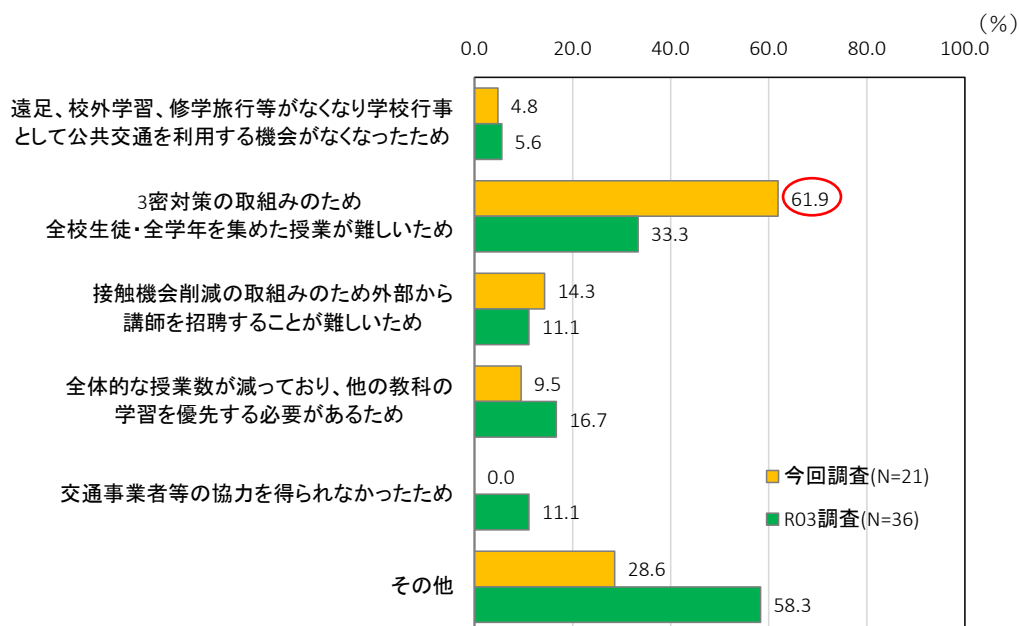
図 地方別 これまでの交通環境学習の取組

⑤ 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

副問 4.4 副問で 4.3 「1」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できない具体的な理由としては、どのようなものがありますか？（いくつでも）

○前問で「交通環境学習」に取り組まない、または取り組むかわからない理由として「新型コロナウイルスの影響のため」とした回答者にその具体的な理由を聞いたところ、「3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため」が61.9%と最も多くなっている。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため	1	4.8	2	5.6	2	3.6
3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため	13	61.9	12	33.3	23	41.8
接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため	3	14.3	4	11.1	10	18.2
全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため	2	9.5	6	16.7	17	30.9
交通事業者等の協力を得られなかったため	0	0.0	4	11.1	5	9.1
その他	6	28.6	21	58.3	23	41.8
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	1.8
合計	21	100.0	36	100.0	55	100.0

図 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

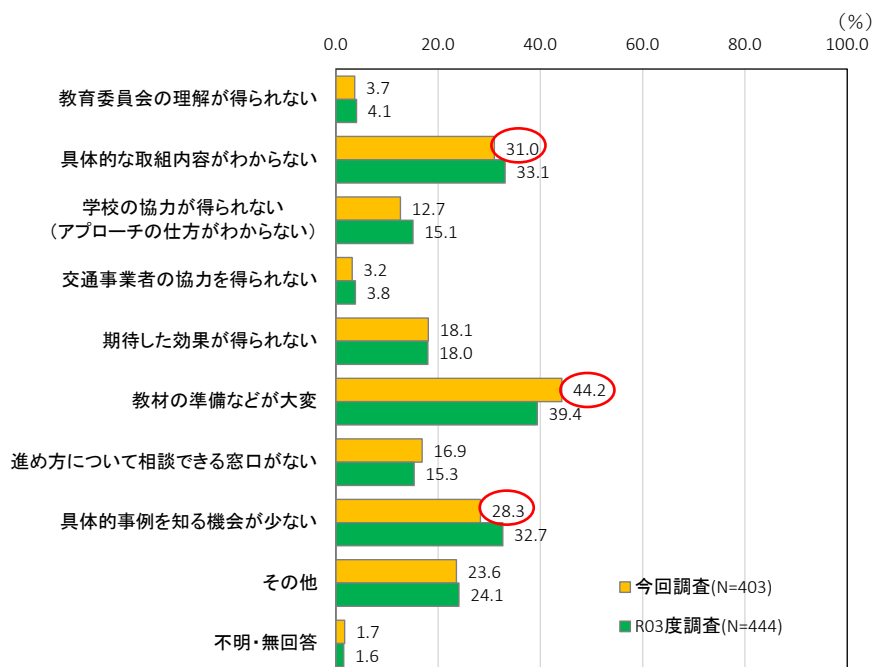
■ 「その他」の主な内容

- ・ 時期により中止になる可能性がある中で、交通事業者等との協議実施が難しいため。
- ・ 新型コロナウイルス対応等による担当部課の人手不足のため

⑥ 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「教材の準備などが大変」が44.2%と最も高く、次いで「具体的な取組内容がわからない」が31.0%、「具体的事例を知る機会が少ない」が28.3%となっている。



	今回調査		R03度調査		R02度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)
教育委員会の理解が得られない	15	3.7	18	4.1	17	4.1
具体的な取組内容がわからない	125	31.0	147	33.1	151	36.7
学校の協力が得られない (アプローチの仕方がわからない)	51	12.7	67	15.1	60	14.6
交通事業者の協力を得られない	13	3.2	17	3.8	17	4.1
期待した効果が得られない	73	18.1	80	18.0	57	13.9
教材の準備などが大変	178	44.2	175	39.4	163	39.7
進め方について相談できる窓口がない	68	16.9	68	15.3	76	18.5
具体的事例を知る機会が少ない	114	28.3	145	32.7	138	33.6
その他	95	23.6	107	24.1	104	25.3
不明・無回答	7	1.7	7	1.6	13	3.2
合計 (回答対象件数)	403	100.0	444	100.0	411	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

■ 「その他」の主な項目

分類項目	件数（件）
担当課の人手不足、担当部署や体制がない	11
関係機関との調整・学校や教育委員会の理解	10
効果の把握方法	8
予算の確保	14
新型コロナウイルスの影響	6
授業時間が確保できない	5
「交通環境学習」への関心の低さ、周知方法	7
スペースや車両数の不足	3
学習やイベントの内容	2
課題や障壁はない・把握していない	24
その他	4

○人口規模別にみると、いずれの人口規模においても「教材の準備が大変」の割合が高くなっている。10万人未満では、「具体的な取組み内容がわからない」、「具体的事例を知る機会がない」も多く挙げられている。

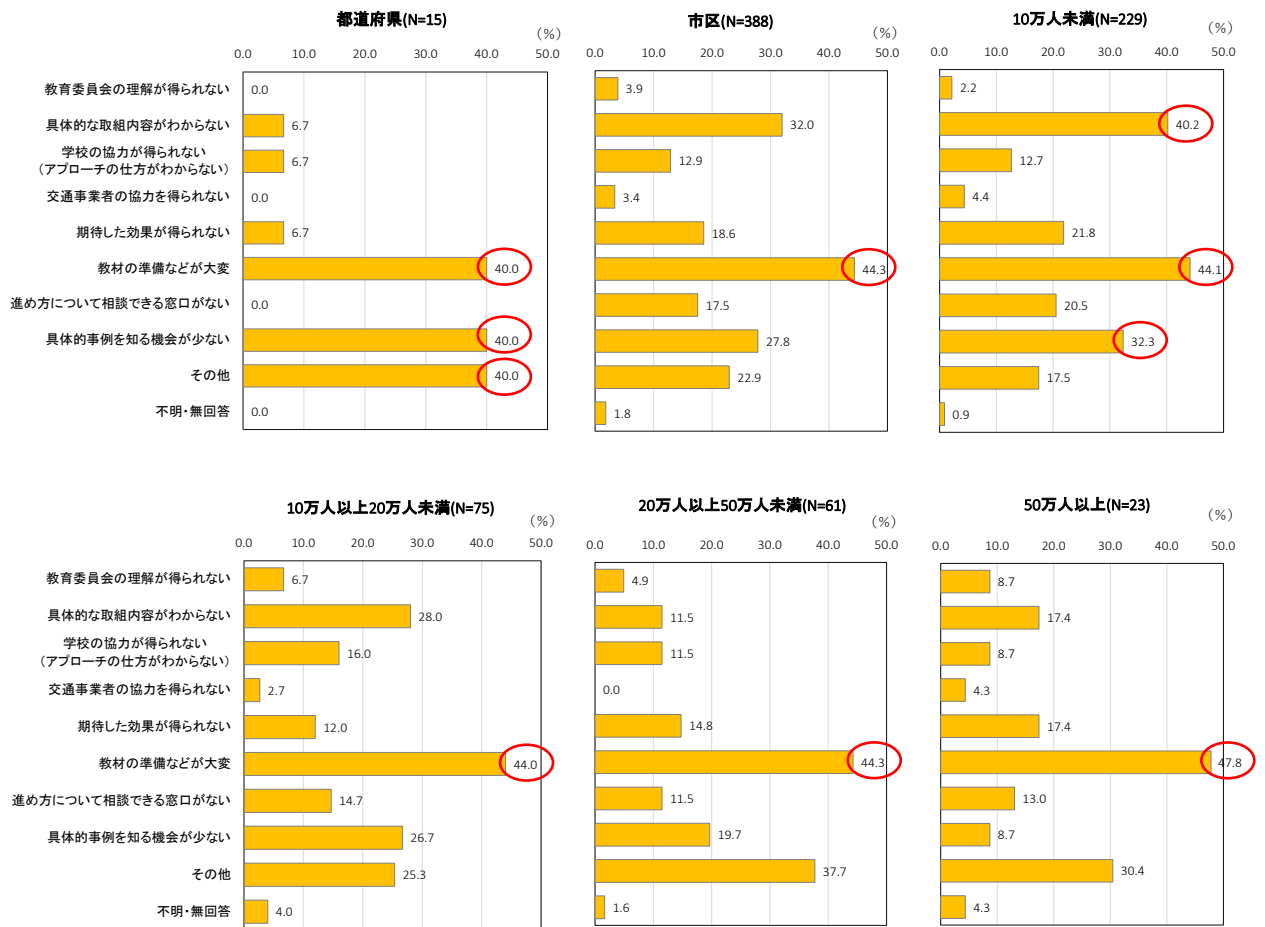


図 人口規模別「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

⑦「交通環境学習」に取り組む場合に予想される問題点や支援してほしい事柄（自由記述）

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援してほしい事柄などについて、具体的に教えてください。

○取組に向けて予想される問題点や支援してほしい内容について下記の分類で自由意見を整理した。問題や課題に関する意見が107件あり、うち「学校や教育委員会の理解・協力・調整」に関するものが最も多く23件の意見があった。また、新型コロナウイルス感染症対策との両立に関連した意見も14件あった。

○支援してほしい事柄に関する意見は79件で、「学習プログラム・教材・ノベルティの提供」「事例紹介」「費用負担・補助」に関する意見が多く挙げられた。

※なお、ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

表 取組に向けて予想される問題点や支援要望内容（自由記述内容）

分類項目	件数(件)
予想される問題や課題	108
担当課の人手不足	29
学校や教育委員会の理解・協力・調整	23
予算の確保	17
効果への疑問・効果のわかりにくさ	11
学習内容・教材の検討	10
交通事業者との調整	9
その他	8
ノウハウ不足	6
公共交通が身近でない・環境が整っていない	5
実施校・参加者の確保	5
コロナ関連	1
支援してほしい事柄	97
学習プログラム・教材・ノベルティの提供	36
事例紹介	29
ノウハウ提供、相談体制、研修会	17
費用負担・補助	16
講師等人員の派遣	7
その他	5

2 教育委員会向けアンケート

2.1 調査の目的

全国の教育委員会を主体としたにおける交通環境学習の継続的な実施状況及び交通環境学習を普及していく上での課題把握を目的とする。

2.2 調査の設計

- 調査対象 都道府県及び市（東京 23 区含む）
- 調査票本数 862 件（47 都道府県、792 市、東京 23 区）
- 調査方法 配布：郵送配布
回収：選択方式（インターネット、FAX、メール）

※メール回答の場合は、MM 学習ポータルサイトからダウンロードできる電子データの調査票を用いる。より回答が簡易にできるよう、配布する電子データの調査票はエクセル形式とした。

- 調査時期 令和 4 年 10 月 17 日（月）～令和 4 年 11 月 18 日（金）

2.3 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 862 件
- 有効回収件数（率） 111 件（12.9%）

表 配布件数・有効回収件数

	配布件数 (件)	有効回答	
		回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	862	98	84.5
FAX		16	13.8
メール		2	1.7
総計	862	116	100.0

<参考> 過年度調査の回収方法と回収率 ※調査方法、配布方法は今年度調査を同様

	令和 3 年度調査		令和 2 年度調査		令和元年度調査	
	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)	回収数 (件)	構成比 (%)
インターネット	92	82.9	70	73.7	60	60.0
FAX	12	10.8	20	21.1	33	33.0
メール	7	6.3	5	5.3	7	7.0
有効回収件数	111	100.0	95	100.0	100	100.0
	回収率 12.9%		回収率 11.0%		回収率 11.6%	

2.4 調査項目及び調査票の設計

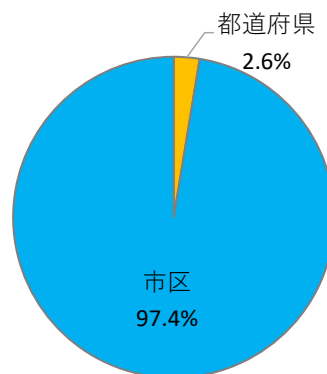
アンケート調査項目は、昨年度に引き続き、問1の昨年度の「交通環境学習」の実施状況および問5の今年度の「交通環境学習」の取組み状況に関する設問について、新型コロナウイルスの影響について確認する選択肢を設定した。

また、副問5.3については、今年度は「交通環境学習」に取組まない、または取り組むかわからない理由について確認する設問とした。

2.5 調査結果

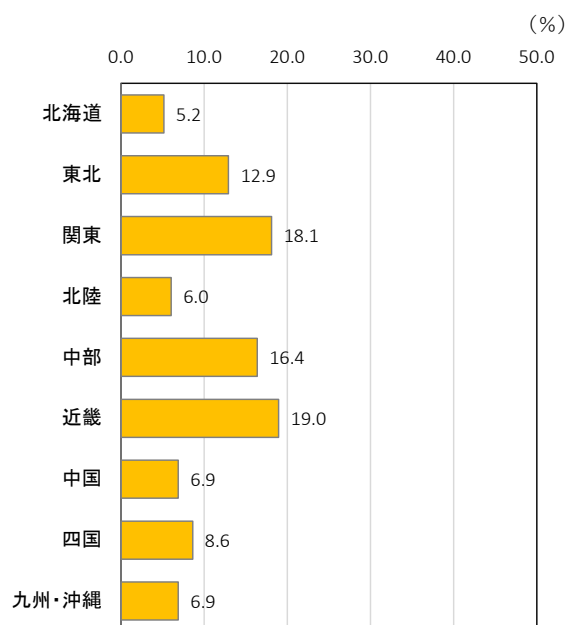
■回答者について

- 「都道府県」から3件、「市区」から113件の回答を得た。
- 構成比を地域別に見ると、「関東」が22.5%、「近畿」が20.7%と多くなっている。
- 人口規模別に見ると、「10万人未満」が61.3%と最も多く、次いで「10万人以上20万人未満」が18.0%となっている。



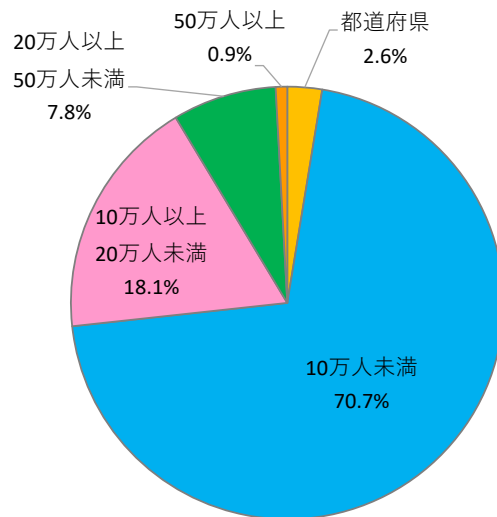
	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	3	2.6	7	6.3
市区	113	97.4	104	93.7
合計	116	100.0	111	100.0

図 都道府県/市区の内訳



	今回調査		R03 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
北海道	6	5.2	6	5.4
東北	15	12.9	10	9.0
関東	21	18.1	25	22.5
北陸	7	6.0	7	6.3
中部	19	16.4	12	10.8
近畿	22	19.0	23	20.7
中国	8	6.9	8	7.2
四国	10	8.6	4	3.6
九州・沖縄	8	6.9	16	14.4
合計	116	100.0	111	100.0

図 地方種別



	今回調査		R03 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	3	2.6	7	6.3
10 万人未満	82	70.7	68	61.3
10 万人以上 20 万人未満	21	18.1	20	18.0
20 万人以上 50 万人未満	9	7.8	11	9.9
50 万人以上	1	0.9	5	4.5
合計	116	100.0	111	100.0

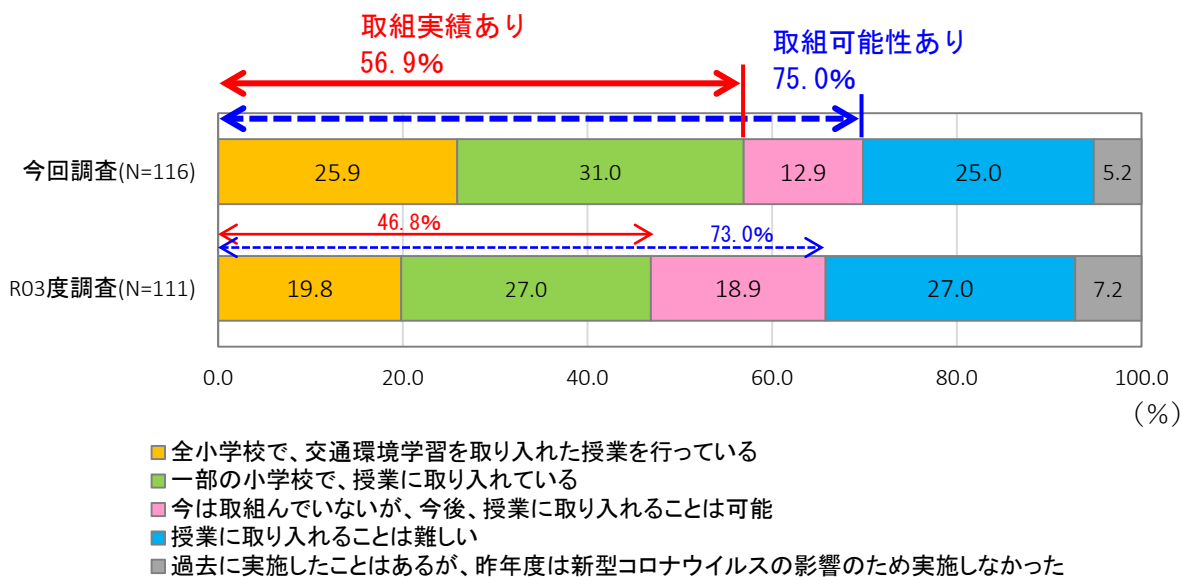
図 人口規模別

(1) 「交通環境学習」の取組状況

1) 「交通環境学習」の取組状況

問1 貴教育委員会が所管する小学校では、「交通環境学習」に取り組んでいますか？（1つに○）

- 交通環境学習の取組状況は、「一部の小学校で、授業に取り入れている」が31.0%、「全小学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている」が25.9%、「今は取組んでいないが、今後授業に取り入れることは可能」が12.9%、「授業に取り入れることは難しい」が25.0%、となっている。
- 全小学校または一部で授業を行っている取組実績のある教育委員会は56.9%で、昨年度調査と比較して10.1ポイント増加している。
- 取組実績のある教育委員会及び、今後授業に取り入れることは可能な取組可能性のある教育委員会は75.0%と、昨年度から2.0ポイント増加している。



	今回調査		R03度調査		
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	
取組実績あり 取組可能性あり	全小学校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている	30	25.9	22	19.8
	一部の小学校で、授業に取り入れている	36	31.0	30	27.0
	今は取組んでいないが、今後、授業に取り入れることは可能	15	12.9	21	18.9
	授業に取り入れることは難しい	29	25.0	30	27.0
	過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった	6	5.2	8	7.2
合計	116	100.0	111	100.0	

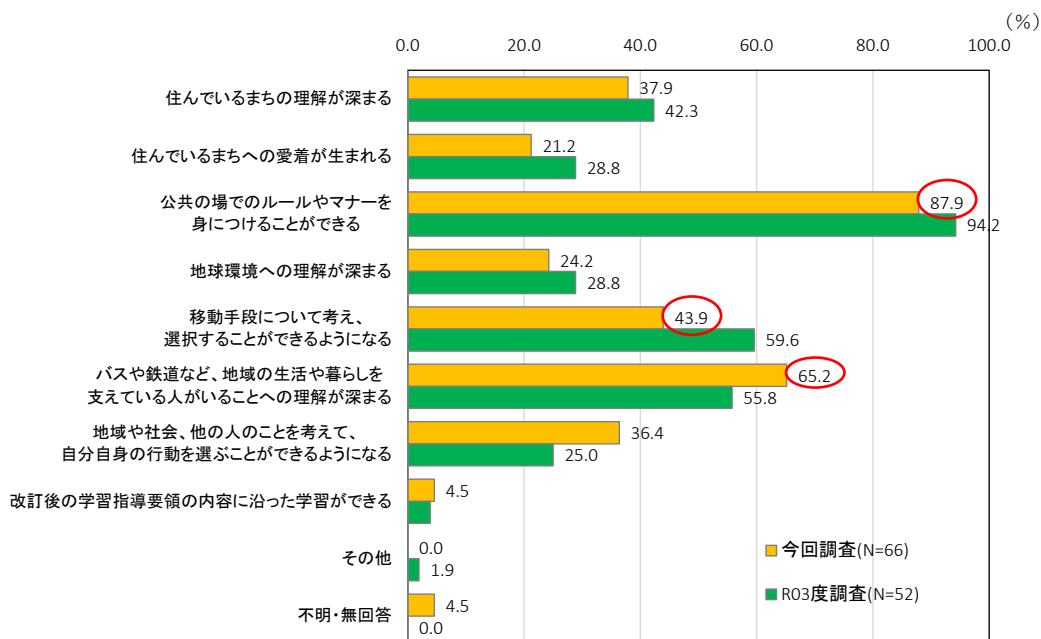
図 「交通環境学習」の取組状況

2) 交通環境学習の効果

(問1で「全小学校で交通環境学習を取り入れた授業を行っている」「一部の小学校で、授業に取り入れている」と回答した教育委員会のみ)

問2 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか。

○「公共の場でのルールやマナーを身に着けることができる」が87.9%と最も多く、次いで「バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる」が65.2%、「移動手段について考え、選択することができるようになる」が43.9%となった。



	今回調査		R03 調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
住んでいるまちの理解が深まる	25	37.9	22	42.3	31	60.8
住んでいるまちへの愛着が生まれる	14	21.2	15	28.8	13	25.5
公共の場でのルールやマナーを身に着けることができる	58	87.9	49	94.2	48	94.1
地球環境への理解が深まる	16	24.2	15	28.8	25	49.0
移動手段について考え、選択することができるようになる	29	43.9	31	59.6	25	49.0
バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる	43	65.2	29	55.8	31	60.8
地域や社会、他の人のことを考えて、自分自身の行動を選ぶことができるようになる	24	36.4	13	25.0	23	45.1
改訂後の学習指導要領の内容に沿った学習ができる	3	4.5	2	3.8	3	5.9
その他	0	0.0	1	1.9	0	0.0
不明・無回答	3	4.5	0	0.0	0	0.0
合計(回答対象者数)	66	100.0	52	100.0	51	100.0

図 「交通環境学習」に期待する効果（複数回答）

3) 実施した「交通環境学習」の対象者と内容

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
 (枠内の該当する部分に○をご記入ください)

- 小学生を対象とした「バスや電車等の乗り方の座学」が69.7%、「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が56.1%と多くなっている。
- 「地球環境問題と交通に関する座学」は小学生で22.7%、「バリアフリーに関する学習(座学)」は小学生で30.3%、「バリアフリーに関する学習(体験型)」は小学生で18.2%となっている。
- 中学生でみると、「バスや電車等の乗り方の座学」が43.9%と最も多く、「バリアフリーに関する学習(座学)」が24.2%、「地球環境問題と交通に関する座学」が15.2%と続く。

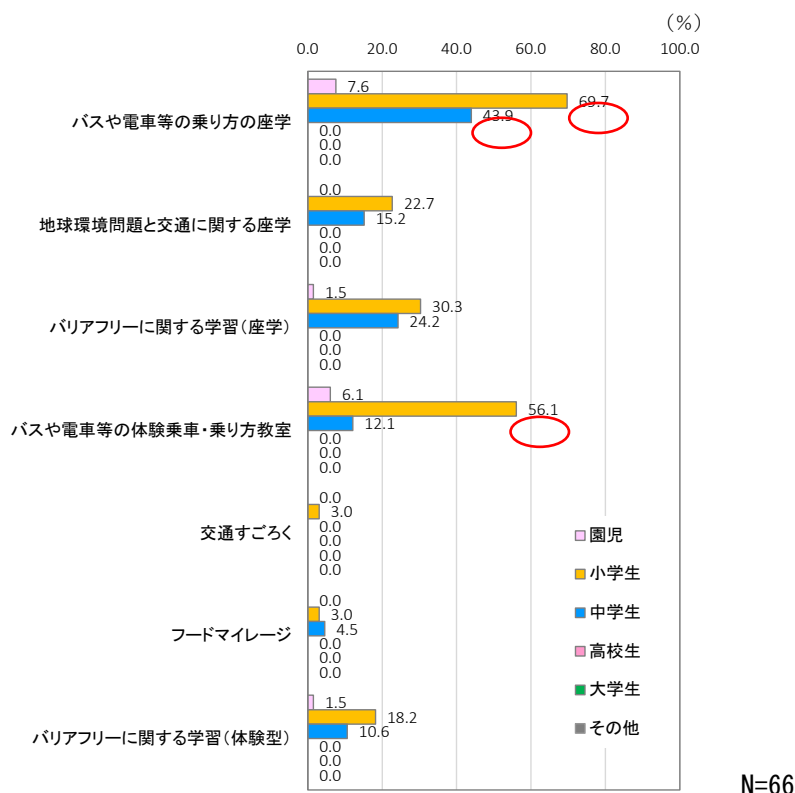


図 「交通環境学習」の対象者と内容

	回答者数 (件)							構成比 (%)									
	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	実施団体数	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	5	46	29	0	0	0	16	66	7.6	69.7	43.9	0.0	0.0	0.0	24.2	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	0	15	10	0	0	0	50	66	0.0	22.7	15.2	0.0	0.0	0.0	75.8	100.0
	バリアフリーに関する学習(座学)	1	20	16	0	0	0	43	66	1.5	30.3	24.2	0.0	0.0	0.0	65.2	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	4	37	8	0	0	0	28	66	6.1	56.1	12.1	0.0	0.0	0.0	42.4	100.0
	交通すごろく	0	2	0	0	0	0	64	66	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.0	100.0
	フードマイレージ	0	2	3	0	0	0	62	66	0.0	3.0	4.5	0.0	0.0	0.0	93.9	100.0
	バリアフリーに関する学習(体験型)	1	12	7	0	0	0	54	66	1.5	18.2	10.6	0.0	0.0	0.0	81.8	100.0
その他	その他 1	0	4	2	0	0	0	62	66	0.0	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0	93.9	100.0
	その他 2	0	1	0	0	0	0	65	66	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	98.5	100.0

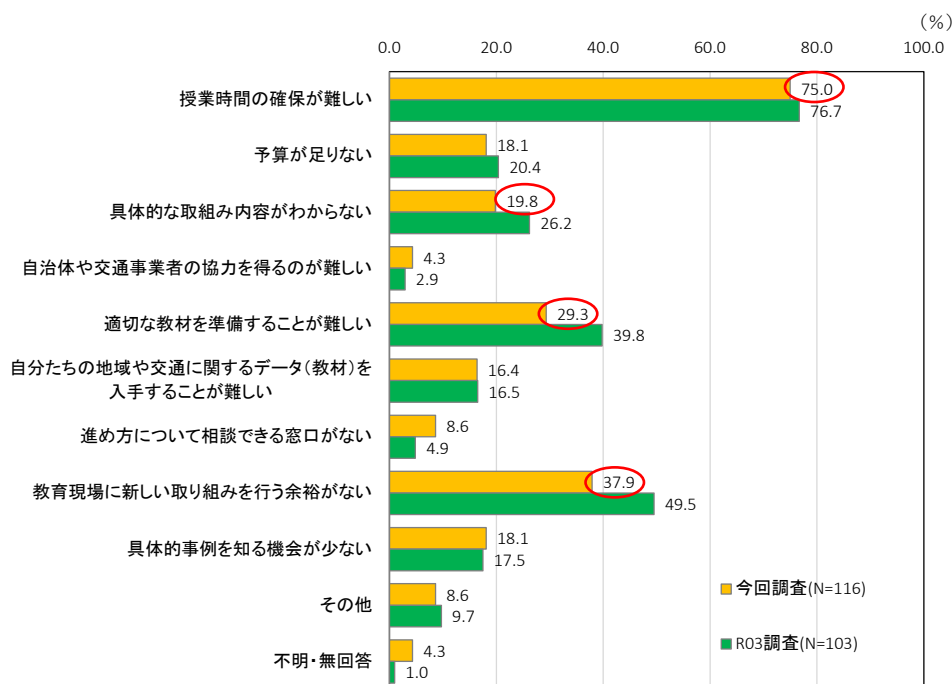
■その他の内容

- ・バス、電車を使った校外学習（2件）
- ・自治体作成の副読本によるまちづくりと公共交通に関する学習
- ・社会科の授業

4) 「交通環境学習」の課題や障壁

問4 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

○「授業時間の確保が難しい」が75.0%と多数を占めた。次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」が37.9%、「適切な教材を準備することが難しい」が29.3%、「具体的な取組み内容がわからない」が19.8%となっている。



	今回調査		R03 調査		R02 度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
授業時間の確保が難しい	87	75.0	79	76.7	75	78.9
予算が足りない	21	18.1	21	20.4	17	17.9
具体的な取組み内容がわからない	23	19.8	27	26.2	20	21.1
自治体や交通事業者の協力を得るのが難しい	5	4.3	3	2.9	8	8.4
適切な教材を準備することが難しい	34	29.3	41	39.8	40	42.1
自分たちの地域の交通やデータ（教材）を入手することが難しい	19	16.4	17	16.5	14	14.7
進め方について相談できる窓口がない	10	8.6	5	4.9	8	8.4
教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない	44	37.9	51	49.5	49	51.6
具体的事例を知る機会が少ない	21	18.1	18	17.5	22	23.2
その他	10	8.6	10	9.7	9	9.5
不明・無回答	5	4.3	1	1.0	0	0.0
合計（回答対象者数）	116	100.0	103	100.0	95	100.0

図 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

■「その他」の内容

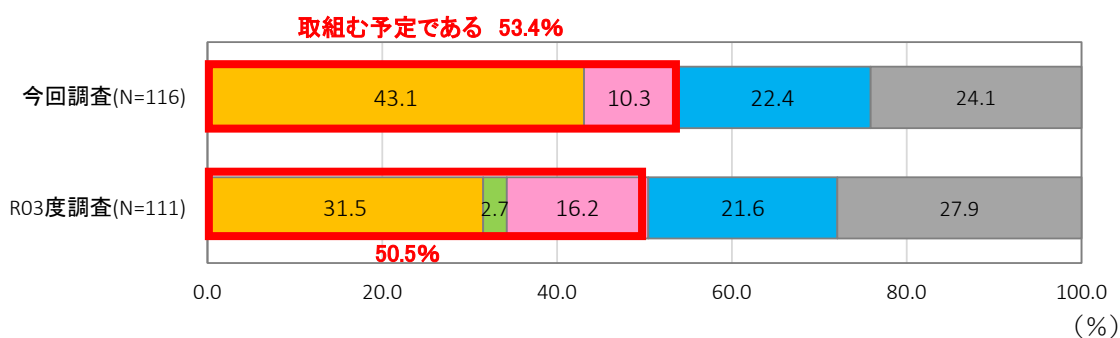
- ・生活環境が自家用車生活であり、子ども自身が電車・バスに乗る生活場面がない。
- ・年間指導計画に学校独自の他の単元内容がある。路線が少ないから。

(2) 今後の「交通環境学習」について

① 今後「交通環境学習」に取り組む意向

問5 今後の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。
 (1) 今年度（令和4年度）、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

- 「取り組む予定（または実施済み）」としているのは53.4%で、昨年度よりも2.9ポイント増加している。
- 「取り組む予定（または実施済み）」と回答したうちの約2割は、「新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる」としている。
- 「わからない」が24.1%、「取り組まない」が22.4%となっている。



- 取り組む予定である(または、既に実施済み)
- 取り組む予定(または、既に実施済み)だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施
- 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる
- 取り組まない
- わからない

	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
取り組む予定である	50	43.1	35	31.5
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施する	0	0.0	3	2.7
取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる	12	10.3	18	16.2
取り組まない	26	22.4	24	21.6
わからない	28	24.1	31	27.9
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	116	100.0	111	100.0
取り組む予定あり	62	53.4	56	50.5

図 「交通環境学習」に取り組む予定

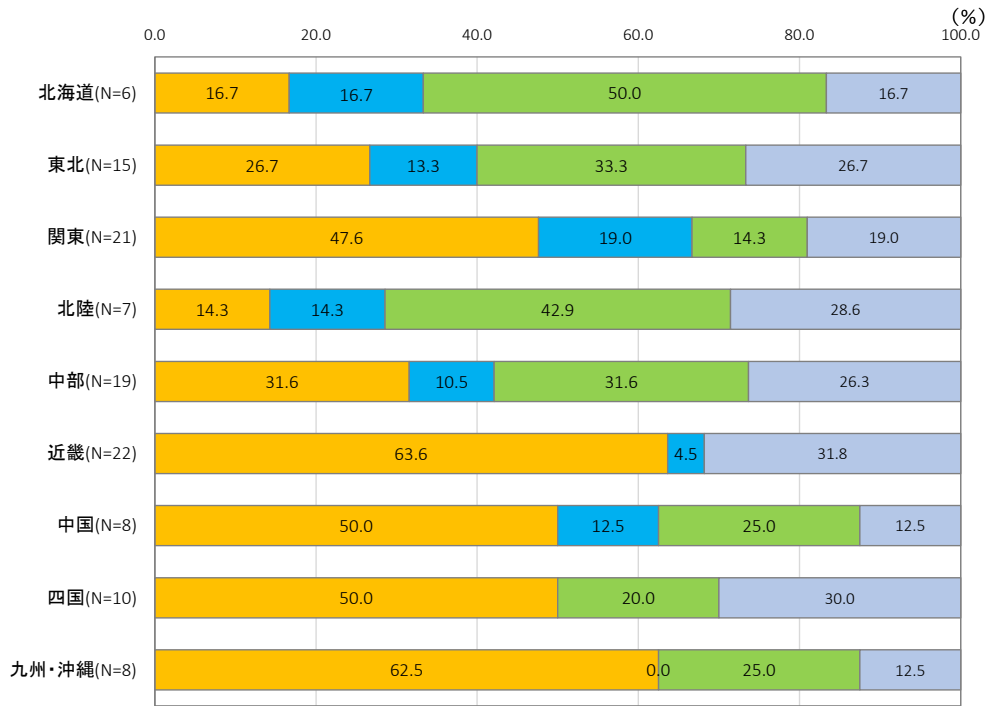


図 地方別 「交通環境学習」に取組む予定

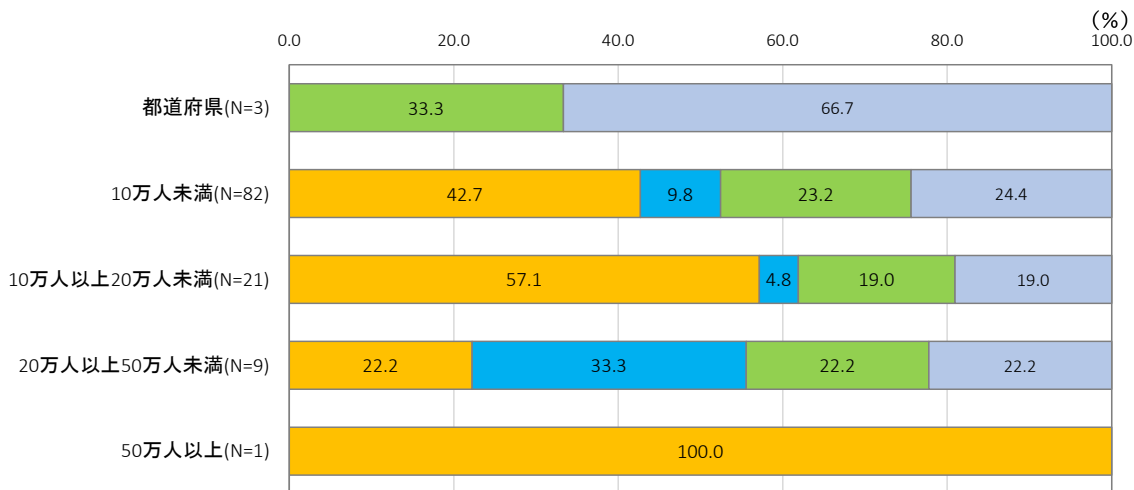


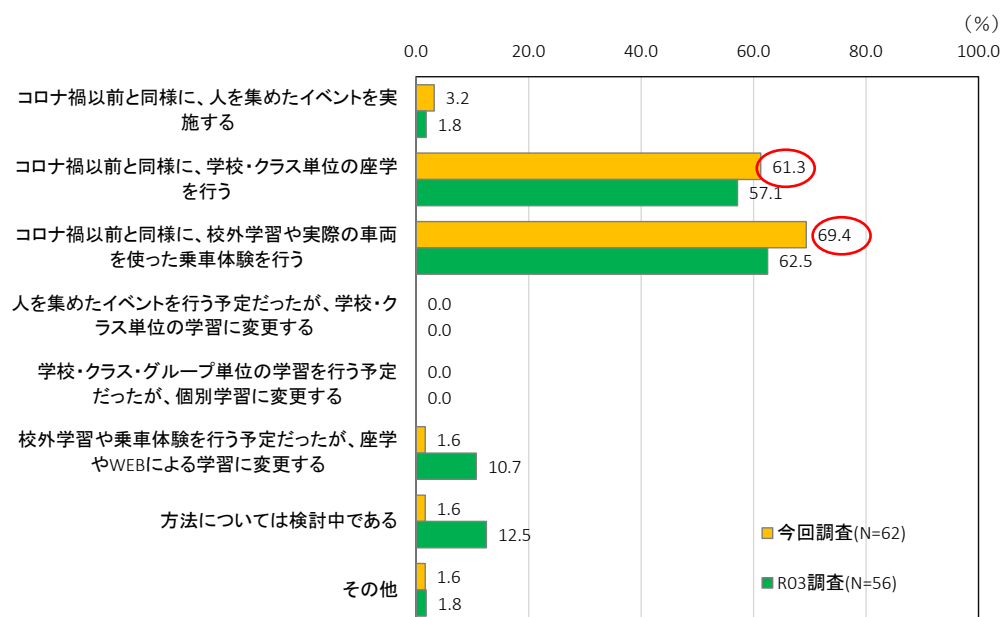
図 人口規模別 「交通環境学習」に取組む予定

②今年度の「交通環境学習」の取組み方法

副問 5.1 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取組む予定ですか。近いものをお答えください。(いくつでも)

- 「コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う」が69.4%と最も多く、次いで「コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う」が61.3%となっている。



	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベントを実施する	2	3.2	1	1.8
コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を行う	38	61.3	32	57.1
コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を行う	43	69.4	35	62.5
人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更する	0	0.0	0	0.0
学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更する	0	0.0	0	0.0
校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更する	1	1.6	6	10.7
方法については検討中である	1	1.6	7	12.5
その他	1	1.6	1	1.8
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	62	100.0	56	100.0

図 「交通環境学習」の取組方法

■「その他」の内容

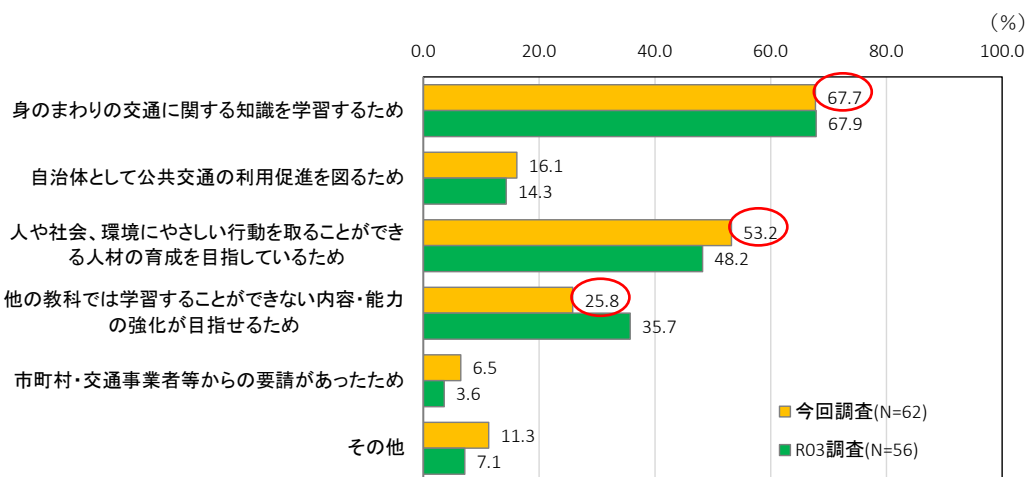
- ・DVDで学習した後、車内見学、駅見学

③コロナの影響がある中で「交通環境学習」を実施する理由

副問 5.2 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

- 「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」が67.7%と最も多く、次いで「人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため」が53.2%、「他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指せるため」が25.8%となっている。



	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
身のまわりの交通に関する知識を学習するため	42	67.7	38	67.9
自治体として公共交通の利用促進を図るため	10	16.1	8	14.3
人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため	33	53.2	27	48.2
他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指せるため	16	25.8	20	35.7
市町村・交通事業者等からの要請があったため	4	6.5	2	3.6
その他	7	11.3	4	7.1
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	62	100.0	56	100.0

図 「交通環境学習」を実施する理由

■「その他」の内容

- ・修学旅行や宿泊学習の事前指導として必要（3件）
- ・幼稚園教育要領および小学校・中学校学習指導要領に基づいて、園児児童生徒の実態に合った教育課程のもと実施しているため
- ・コロナ禍で電車に乗ることができないため、電車の乗り方を知る、駅の使い方やみんなにとって使いやすい工夫を知る

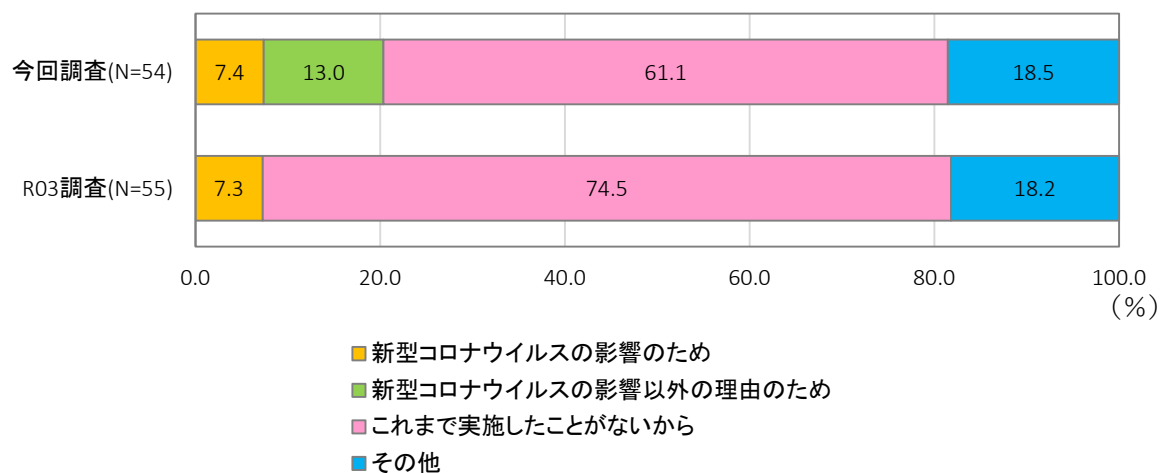
- ・公共マナーを学ぶ、体験したことのない児童に体験させるため。交通業者等からの要請があったため。
- ・交通マナーやルールについて知るため

④ 「交通環境学習」に取組まない理由

副問 5.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

今年度、「交通環境学習」に取組まない、または取組むかわからない理由について教えてください。(1つに〇)

○今年度の交通環境学習について、「取組まない」「わからない」の回答者に取組まない、または取組むかわからない理由について聞いたところ、「これまで実施したことがないから」が61.1%と最も高くなっている。



	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
新型コロナウイルスの影響のため	4	7.4	4	7.3
新型コロナウイルスの影響以外の理由のため	7	13.0	0	0.0
これまで実施したことがないから	33	61.1	41	74.5
その他	10	18.5	10	18.2
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	54	100.0	55	100.0

図 交通環境学習に取組まない理由

■ 「新型コロナウイルスの影響以外の理由」の主な内容

- ・各学校の教育課程によるため。(2件)
- ・授業時間の確保が難しい。余裕がない。(2件)
- ・「交通環境学習」として単独での実施は難しいが、関連した内容については、教科等の中で行われているため。
- ・市として生命の尊厳への理解を深めるための授業を重点化として取り組んでいるため
- ・取組の実施決定については各学校の判断に委ねているため。

■ 「その他」の主な内容

- ・教育課程は学校が計画し実行するものであり、本年度はまだ確認ができていない。(5件)
- ・新たにカリキュラムを編成する余裕がない(2件)
- ・交通環境学習の一部については、社会科の中でその内容を含む形で学習しており、今後、学習活動として取り入れていく際は、現在の学習活動と関連付けて検討していかないといけないため。
- ・「交通環境学習」として明確に教育課程に位置付けられないため、把握は困難である。
- ・県内の小中学校は市町村立のため、本県教育委員会の所管する小中学校はないため

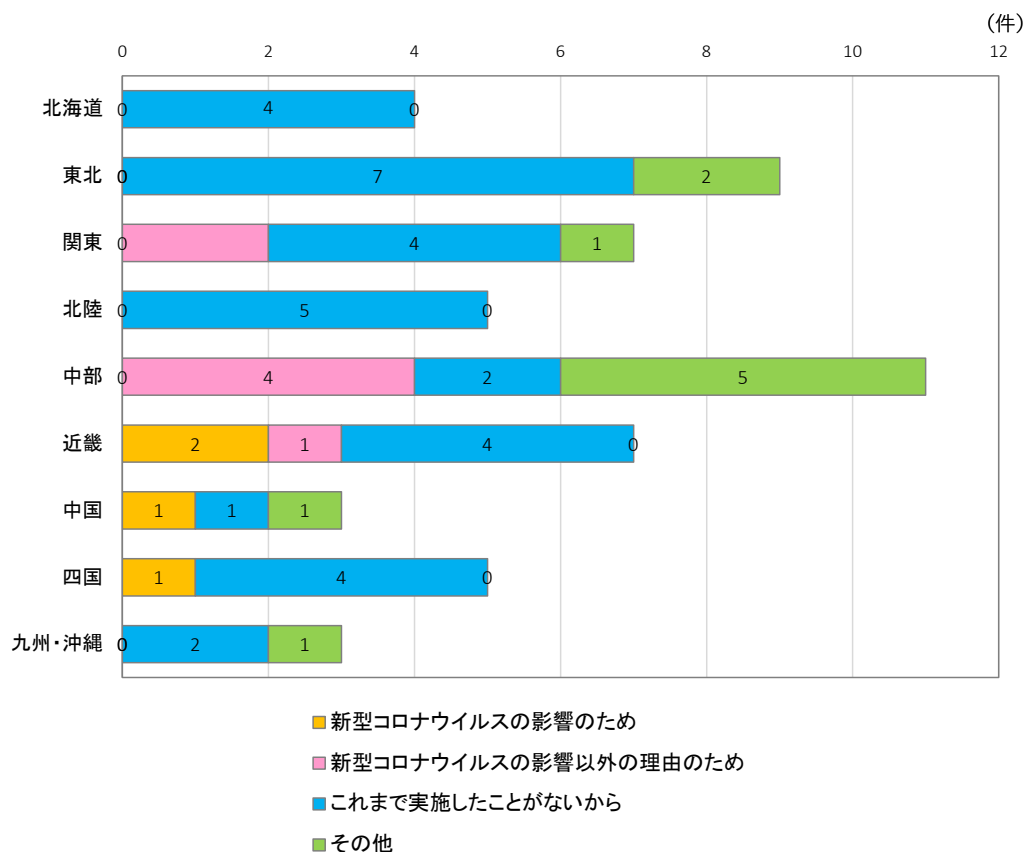
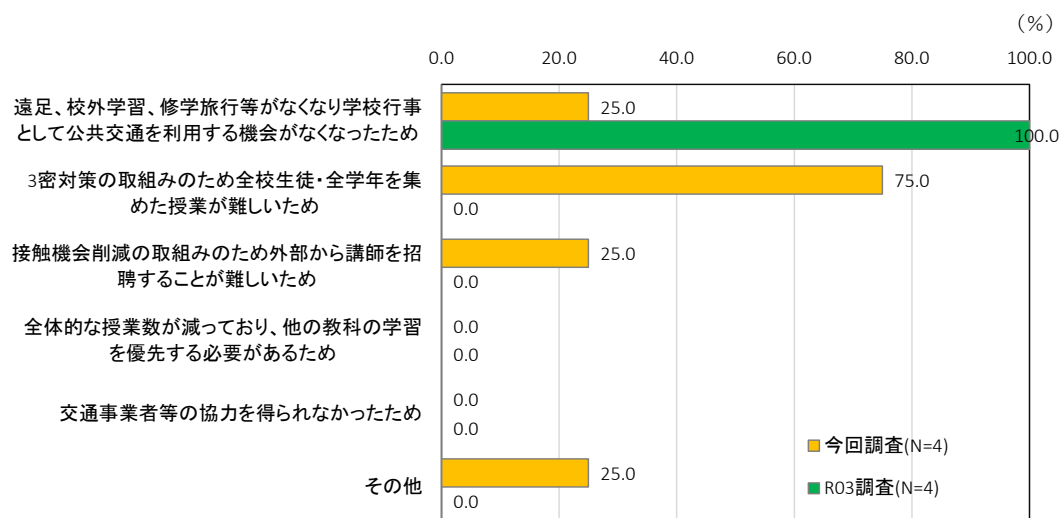


図 地方別 「交通環境学習」に取組まない理由

⑤ 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

副問 5.4 副問で 5.3 「1」とお答えの方にお伺いします。
 新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できない具体的な理由としてはどのようなものがありますか？（いくつでも）

○前問で「今年度は新型コロナウイルスの影響のため取組まない、または取組むかわからない」の回答者にその具体的な理由を聞いたところ、「3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため」が75.0%と最も多くなっている。



	今回調査		R03度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため	3	75.0	4	100.0
3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため	1	25.0	0	0.0
接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため	0	0.0	0	0.0
全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため	0	0.0	0	0.0
交通事業者等の協力を得られなかったため	1	25.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	3	75.0	0	0.0
合計	4	100.0	4	100.0

図 「交通環境学習」への新型コロナウイルスの影響

■ 「その他」の主な内容

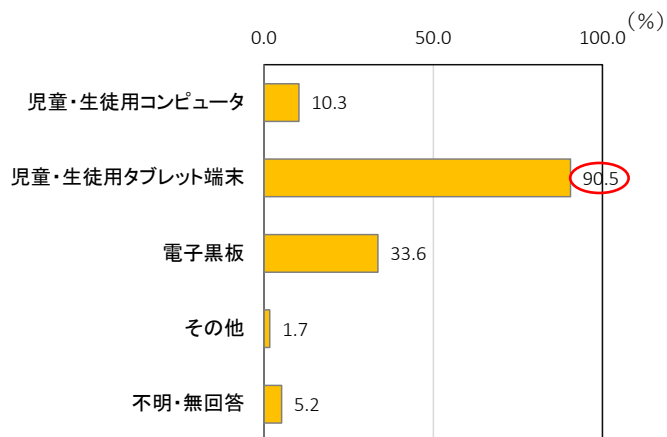
- ・ 外部の人との接触を避けるため

(3) 「交通環境学習」の普及・推進について

1) デジタル機器の活用状況について

問6 学習のデジタル化として貴教育委員会で導入（もしくは導入を検討）されており、交通環境学習への活用が期待される機器はありますか？（いくつでも）

○ 「児童・生徒用タブレット端末」が90.5%と最も高い回答を得た。



	回答数 (件)	構成比 (%)
児童・生徒用コンピュータ	12	10.3
児童・生徒用タブレット端末	105	90.5
電子黒板	39	33.6
その他	2	1.7
不明・無回答	6	5.2
合計	116	100.0

図 デジタル教材の活用が期待される機器

■ その他

- ・ 大型提示装置
- ・ シミュレーター

2) 交通環境学習」を普及・推進に対する意見について

問7 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む小学校は、全国で少しずつ増えています。

また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。

貴教育委員会としては、「交通環境学習」を普及・推進することに対して、どのように思われますか。

- 「普及・推進していく上での課題」に関する意見が26件と多く、その中でも「カリキュラム、時間的余裕がない」といった内容が最も多かった。また、自治体の特性として「公共交通が身近にない、利便性が低い」ことに課題を感じている教育委員会も複数挙げられた。
- 「交通環境学習の効果、重要性」は21件、「取り組みに関する工夫」は15件と、交通環境学習に意欲的な意見も挙げられた。

表 交通環境学習の普及・推進に関する意見

分類項目	件数（件）
普及・推進していく上での課題	20
カリキュラム、時間的余裕がない	11
公共交通が身近にない、利便性が低い	5
その他	4
交通環境学習の効果、重要性	18
取組に関する工夫	20
交通環境学習に期待すること	10
今後検討、学校の判断に任せる	10
その他	2
回答件数	100

3 アンケート調査結果のまとめと今後の課題

(1) アンケート調査結果のまとめ

①都道府県・市を対象としたアンケート

- ・本年度調査において回答を得た 403 自治体における、昨年度の交通環境学習の実施状況は 30.5%と昨年度より 6.6 ポイント増加した。新型コロナウイルスの影響のため実施しなかったと回答した自治体は 18.9%で、以前として感染状況が交通環境学習の実施に影響しているものの、昨年度よりも実施団体数が増加している。
- ・昨年度は実施していないもののこれまでに実施したことがある団体もあわせると、交通環境学習の実施経験のある団体は 56.8%となり、昨年度調査に比べ 7.2 ポイント増加した。
- ・交通環境学習を継続的に実施できる理由として、「効果が期待できる」が 49.2%、「自治体の方針や計画に位置付けられている」が 45.9%であった。
- ・交通環境学習の効果としては、「公共交通の利用促進・利用者増」を挙げている団体が最も多い結果であった。
- ・昨年度交通環境学習に取り組んでいない団体における取組まなかった理由としては、「担当部課の人手不足」を挙げた団体が最も多く、次いで「取組方法が分からない」、「効果がわからない」といった理由であった。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、取り組む予定である自治体が 42.7%と、昨年度より 15.2 ポイント増加している。新型コロナウイルスの影響により実施方法の変更や中止の可能性があると回答したものも含めると、約半数の 48.1%が取り組む意向があると回答している。
- ・取組方法については、コロナ禍以前と同様の方法で取組むという回答が昨年度よりも多くなっており、特に、「人を集めたイベントの実施」については 12.2 ポイント増加した。
- ・新型コロナウイルスの影響により授業が縮小されている中でも交通環境学習を実施する理由としては、「自治体として公共交通の利用促進を図るため」、「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」を挙げている団体が多い結果となった。
- ・今年度の交通環境学習に「取組まない」または「取組むかわからない」理由は、「これまで実施したことがない」が 57.9%と最も高くなっている。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「教材の準備などが大変」、「具体的な取組内容がわからない」等において多くの回答が得られた。なお、教材の内容に対する要望としては、「最新のデータや図表の提供」、「ダウンロードしてすぐ使えるもの」「動画教材」の要望があった。また、教材の内容の更新に苦労しているという意見も挙げられており、教材の継続的な更新については検討が必要であると考えられる。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上で予想される問題点としては、「担当課の人手不足」に関する意見が最も多くなっている。交通環境学習の実施には関係各者の調整が必須であるが、学校側もカリキュラムに余裕がなく、交通事業者も通常業務と並行して行う必要があるという状況から、実施が困難であるという実態が明らかになった。

②教育委員会を対象としたアンケート

- ・回答のあった教育委員会（116 件）が所管する小学校での交通環境学習の実施状況について、取組

実績ありは 56.9%であり、昨年度調査から 10.1 ポイント減少した。


- ・教育委員会が考える交通環境学習の効果としては、「公共の場でのルールやマナーを身に着けることができる」が最も多かった。
- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題や障壁としては、「授業時間の確保が難しい」が最も多く、次いで「教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない」、「適切な教材を準備することが難しい」が挙げられ、昨年度とほぼ同様の結果となった。自治体のみならず、教育委員会からも授業時間の確保や教材に関する課題が挙げられた。
- ・今年度の交通環境学習への取組としては、取り組む予定である自治体が 53.4%で、昨年度よりも 2.9 ポイント増加している。
- ・取組方法については、コロナ禍以前と同様の方法で取り組むという回答が多い。
- ・新型コロナウイルスの影響により授業が縮小されている中でも交通環境学習を実施する理由としては、「身のまわりの交通に関する知識を学習するため」を挙げている団体が最も多い結果となった。
- ・今年度の交通環境学習に取り組まない、または取り組むかわからない理由は、自治体と同様に「これまで実施したことがないから」が 61.1%と最も高くなっている。
- ・「交通環境学習」を普及・推進することに対する意見については、課題として「カリキュラム、時間的余裕がない」が多く挙げられているものの、SDGs などの視点も含めた交通環境学習の効果や、公共交通の重要性を理解する上で効果的な取組であるという意見が挙げられている。

(2) 今後の課題

- ・交通環境学習に取り組んでいく上での課題として、都道府県・市、教育委員会いずれにおいても、人手不足から実施が難しい点が挙げられた。交通環境学習の実施のためには、各者の調整が円滑に進むよう、企画・調整段階からノウハウを提供できるような支援について検討する必要があると考えられる。
- ・また、教材の準備に時間を要するという課題も挙げられており、テンプレートや加工しやすいデータなど、教材準備の負担が軽減するような工夫が求められている。また、教材の内容の継続的な更新についても検討が必要である。
- ・昨年度（令和 3 年度）の交通環境学習の実施状況は、実施したという回答が増加し、今年度も取り組む予定であるとの回答が多くなっている。一方で、今後も、特にイベントや乗車体験などが含まれた交通環境学習は、感染状況に影響される可能性があるため、状況に応じて実施方法の工夫事例等を示していく必要があると考えられる。

参考 1. 自治体向け アンケート調査票

①昨年度取組が確認された自治体向け

調査票 A-1 (黄)	
「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査	
ご協力のお願い	
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団	
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。	
なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (http://www.mm-education.jp/) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）	
ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。	
「交通環境学習」とは？	「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。 ※ <u>バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません</u>
交通環境学習の 授業内容例	<ul style="list-style-type: none">・イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）・バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）・公共交通を題材とした地球環境問題の学習・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習・公共交通を題材としたまちづくり学習・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など
■記入上のご注意	
<ul style="list-style-type: none">・この調査票は、令和3年度実施アンケートで交通環境学習に取組んだと回答された自治体にお送りしています。・ご回答は、「交通環境学習」の取組内容をご存じのご担当者様、または、公共交通計画等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。 （※本調査票は、過去にアンケートにご回答いただいた部署あてにお送りしていますが、別に該当する部署がありましたら、回答が可能なご担当者様にご転送願います。）・なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。	
■回収の期日	交通環境学習ポータル サイト QRコード
アンケートは、 11月18日（金） までに、ご回答をお願いいたします。	
■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）	
A. インターネット	下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます 交通環境学習ポータルサイト http://www.mm-education.jp/
B. FAX	記入後の調査票を FAX 03-5791-1143 まで返信
C. メール	エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、 記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信
【問い合わせ先】 交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）	
TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp	
■調査会社 （調査票の配布・回収）	
社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133	

■ 貴自治体での令和3年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和3年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したのも含みます。

1. 実施した →副問1.1へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった →問4へ
3. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった（新型コロナウイルス以外の理由） →副問1.2へ

副問1.1 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？（いくつでも）

1. 効果が期待できる
(具体的に期待している効果は何ですか？)
2. 学校や市町村、交通事業者等が主体となって実施している
3. 学校からの要請がある
4. 自治体の方針や計画に位置づけられている
5. その他（具体的に：)

→副問1.1のあとは、問2へ

副問1.2 問1で「3」とお答えの方にお伺いします。

昨年度、「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分らない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に：)

→副問1.2のあとは、4ページの問4へ

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。

(1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.1へ
2. 実施していない →(2)へ

副問 2.1 (1) で「1」とお答えの方にお伺いします。
授業の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や市町村、交通事業者等が主体となり実施
6. その他(具体的に: _____)

(2) それは、学校の授業以外では、どのような形(フォーラム、バスまつりなど)で実施しましたか?

具体的に:

副問 2.2 (2) でご回答いただいた方にお伺いします。
(2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や市町村が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他(具体的に: _____)

問 3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？(枠内の該当する部分に○をご記入ください)

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習(座学)						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく※1						
	フードマイレージ※2						
	バリアフリーに関する学習(体験型)						
その他	(具体的に: _____)						
	(具体的に: _____)						

※1 交通すごろく: すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ: 買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今年度の「交通環境学習」について

問4 今年度の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度（令和4年度）、「交通環境学習」に取組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）

1. 取組む予定である（または、既に実施済み） →副問4.1へ
2. 取組む予定（または、既に実施済み）だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施 →副問4.1へ
3. 取組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる →副問4.1へ
4. 取組まない →次ページ副問4.3へ
5. わからない →次ページ副問4.3へ

副問4.1 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取組む予定ですか？（または、実施しましたか？）近いものをお答えください。（いくつでも）

1. コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベント*を実施
2. コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を実施
3. コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を実施
4. 人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更
5. 学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更
6. 校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更
7. 方法については検討中である
8. その他（具体的に： _____）

※鉄道の日やバスの日、海の日などに合わせた公共交通に親んでもらうためのイベント
（例：バスまつりなど）

→副問4.2もご回答ください。

副問4.2 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

1. 身のまわりの交通に関する知識を学習するため
2. 自治体として公共交通の利用促進を図るため
3. 人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため
4. 他の教科では学習することができない内容・能力の強化が指せるため
5. 市町村・交通事業者等からの要請があったため
6. その他（具体的に： _____）

→6ページ問5へお進みください。

副問 4.3 (1)で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。
今年度、「交通環境学習」に取り組まない、または取り組むかわからない理由について教えてください。(1つに○)

1. 新型コロナウイルスの影響のため →副問4.4へ

2. 新型コロナウイルスの影響以外の理由のため

(具体的な理由：)

3. その他(具体的に：)



→ 6 ページ問5へお進みください。

副問 4.4 副問で4.3で「1」とお答えの方にお伺いします。
新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できない具体的な理由としては、どのようなものがありますか？(いくつでも)

1. 遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり、学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため

2. 3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため

3. 接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため

4. 全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため

5. 交通事業者等の協力を得られなかったため

6. その他(具体的に：)

→6 ページ問5へお進みください。

■ 今後の「交通環境学習」について

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力を得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： _____）

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

→質問は以上です。
最後にご回答者様についてご記入ください。

■ 貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名		担当部署	
氏名		役職	
TEL		FAX	e-mail

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
アンケートは、11月18日（金）までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

交通環境学習の
授業内容例

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

- ・イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・この調査票は、**令和3年度実施アンケートで交通環境学習に取り組んでいないと回答された自治体または回答がなかった自治体**にお送りしています。
- ・ご回答は、「交通環境学習」の取組内容をご存じのご担当者様、または、公共交通計画等の関係部署のご担当者様にお願いいたします。
（※本調査票は、過去にアンケートにご回答いただいた部署または公共交通計画等の関係部署あてにお送りしていますが、別に該当する部署がありましたら、回答が可能なご担当者様にご転送願います。）
- ・なお、教育委員会にも同様のアンケートを配布しています。

■回収の期日

アンケートは、**11月18日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を **FAX 03-5791-1143** まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、

記入後の調査票を **info@mm-education.jp** まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

■ 貴自治体での令和3年度の「交通環境学習」の実施状況について

問1 貴自治体では昨年度（令和3年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組に協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した → [問2へ](#)
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった → [問4へ](#)
3. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった（新型コロナウイルス以外の理由）
→ [副問1.1へ](#)
4. これまで実施したことがない → [副問1.1へ](#)

副問1.1 [問1](#)で「3」「4」とお答えの方にお伺いします。

(1) 「交通環境学習」に取組む意向はありましたか？（1つに○）

1. 取組に向けて検討したが断念した
2. 関心はあったが検討しなかった
3. 関心もない

(2) その主な理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分らない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に： _____）

→ [副問1.1のあとは、4ページの問4へ](#)

問2 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします。

(1) それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した → [副問2.1へ](#)
2. 実施していない → [②へ](#)

副問2.1 (1)で「1」とお答えの方にお伺いします。
授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や市町村、交通事業者等が主体となり実施
6. その他（具体的に： _____）

(2) それは、学校の授業以外ではどのような形（フォーラム、バスまつりなど）で実施しましたか？

具体的に：

副問 2.2 (2) でご回答いただいた方にお伺いします。

(2) でご回答いただいた活動の実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や市町村が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他（具体的に： _____)

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく ^{※1}						
	フードマイレージ ^{※2}						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____)						
	（具体的に： _____)						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

■ 今年度の「交通環境学習」について

問4 今年度の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

(1) 今年度(令和4年度)、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？(または、既に実施しましたか？)(1つに○)

1. 取り組む予定である(または、既に実施済み) →副問4.1へ
2. 取り組む予定(または、既に実施済み)だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施 →副問4.1へ
3. 取り組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる →副問4.1へ
4. 取り組まない →次ページ副問4.3へ
5. わからない →次ページ副問4.3へ

副問4.1 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取り組む予定ですか？(または、実施しましたか？)近いものをお答えください。(いくつでも)

1. コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベント*を実施
2. コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を実施
3. コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を実施
4. 人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更
5. 学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更
6. 校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更
7. 方法については検討中である
8. その他(具体的に:)

※鉄道の日やバスの日、海の日などに合わせた公共交通に親んでもらうためのイベント
(例: バスマつりなど)

→副問4.2もご回答ください。

副問4.2 (1)で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？(いくつでも)

1. 身のまわりの交通に関する知識を学習するため
2. 自治体として公共交通の利用促進を図るため
3. 人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため
4. 他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指すため
5. 市町村・交通事業者等からの要請があったため
6. その他(具体的に:)

→6 ページ問5へお進みください。

副問 4.3 (1) で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。

今年度、「交通環境学習」に取り組まない、または取り組むかわからない理由について教えてください。(1つに○)

1. 新型コロナウイルスの影響のため →副問 4.4へ

2. 新型コロナウイルスの影響以外の理由のため

(具体的な理由:)

3. これまで実施したことがないから

4. その他 (具体的に:)

→ 6 ページ問5へお進みください。

副問 4.4 副問で 4.3 「1」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できない具体的な理由としては、どのようなものがありますか？(いくつでも)

1. 遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり、学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため

2. 3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため

3. 接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため

4. 全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため

5. 交通事業者等の協力を得られなかったため

6. その他 (具体的に:)

→6 ページ問5へお進みください。

■ 今後の「交通環境学習」について

問5 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力を得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： _____)

問6 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

→質問は以上です。
最後にご回答者様についてご記入ください。

■ 貴自治体やご回答者について

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名		担当部署	
氏名		役職	
TEL		FAX	e-mail

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
アンケートは、11月18日（金）までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。

調査票 C(白)

「鉄道やバスなどを教材とした学習」に関する調査

ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒等を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の教育委員会での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定しています。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

※ バスや鉄道などへの単なる乗車は含みません

交通環境学習の
授業内容例

- ・ イベント（バスまつりなど公共交通に親しんでもらうためのイベント）
- ・ バスや鉄道の乗り方教室（校外学習や修学旅行での事前学習も含みます）
- ・ 公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・ 環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・ 公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・ 交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・ フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

■記入上のご注意

- ・ ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合はその内容をご存じのご担当者様、取組まれていない場合は学校教育等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。
- ・ なお、各自治体の公共交通関係部署にも同様のアンケートを別途実施しています。

■回収の期日

アンケートは、**11月18日（金）**までに、ご回答をお願いいたします。

交通環境学習ポータル
サイト QRコード



■調査票の回収方法（A～Cのいずれかの方法で返送ください）

A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>

B. FAX

記入後の調査票を FAX 03-5791-1143 まで返信

C. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、
記入後の調査票を info@mm-education.jp まで返信

【問い合わせ先】交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）

TEL 03-5844-6268 E-mail info@mm-education.jp

■調査会社（調査票の配布・回収）

社会システム株式会社（担当：吉田） TEL 03-5791-1133

令和3年度の「交通環境学習」の取組み状況について

問1 貴教育委員会が所管する学校では、昨年度（令和3年度）に、「交通環境学習」を実施しましたか？（近いもの1つに○）

1. 全校で、交通環境学習を取り入れた授業を行っている → 問2へ
2. 一部の学校で、授業にとり入れている → 問2へ
3. 今は取り組んでいないが、今後、授業にとり入れることは可能 → 問4へ
4. 授業にとり入れることは難しい → 問4へ
5. 過去に実施したことはあるが、昨年度は新型コロナウイルスの影響のため実施しなかった → 問4へ

問2 「交通環境学習」には、どのような効果があるとお考えですか（いくつでも）

1. 住んでいるまちの理解が深まる
2. 住んでいるまちへの愛着が生まれる
3. 公共の場でのルールやマナーを身につけることができる
4. 地球環境への理解が深まる
5. 移動手段について考え、選択することができるようになる
6. バスや鉄道など、地域の生活や暮らしを支えている人がいることへの理解が深まる
7. 地域や社会、他の人のことを考えて、自分自身の行動を選ぶことができるようになる
8. 改訂後の学習指導要領の内容に沿った学習ができる
9. その他（具体的に： _____)

問3 昨年度（令和3年度）に実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？
（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

	内 容	対象者					
		園児	小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学						
	地球環境問題と交通に関する座学						
	バリアフリーに関する学習（座学）						
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室						
	交通すごろく ^{※1}						
	フードマイレージ ^{※2}						
	バリアフリーに関する学習（体験型）						
その他	（具体的に： _____)						
	（具体的に： _____)						

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と地球環境問題の関係や渋滞などを学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

問 4 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 授業時間の確保が難しい
2. 予算が足りない
3. 具体的な取組内容がわからない
4. 自治体や交通事業者の協力を得るのが難しい
5. 適切な教材を準備することが難しい
6. 自分たちの地域や交通に関するデータ（教材）を入手することが難しい
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 教育現場に新しい取り組みを行う余裕がない
9. 具体的事例を知る機会が少ない
10. その他（具体的に： _____)

→4 ページ問5へお進みください。

■ 今年度の「交通環境学習」について

問5 今年度の「交通環境学習」の取組みについてお伺いします。

- (1) 今年度（令和4年度）、貴教育委員会が所管する学校では、「交通環境学習」に取組む予定はありますか？（または、既に実施しましたか？）（1つに○）
1. 取組む予定である（または、既に実施済み） →副問 5.1へ
 2. 取組む予定（または、既に実施済み）だが、新型コロナウイルスの影響により当初の計画とは異なる方法で実施 →副問 5.1へ
 3. 取組む予定だが、新型コロナウイルスの影響により中止も考えられる →副問 5.1へ
 4. 取組まない →次ページ副問 5.3へ
 5. わからない →次ページ副問 5.3へ

副問 5.1 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

今年度の「交通環境学習」は、どのような方法で取組む予定ですか？（または、実施しましたか？）近いものをお答えください。（いくつでも）

1. コロナ禍以前と同様に、人を集めたイベント[※]を実施
2. コロナ禍以前と同様に、学校・クラス単位の座学を実施
3. コロナ禍以前と同様に、校外学習や実際の車両を使った乗車体験を実施
4. 人を集めたイベントを行う予定だったが、学校・クラス単位の学習に変更
5. 学校・クラス・グループ単位の学習を行う予定だったが、個別学習に変更
6. 校外学習や乗車体験を行う予定だったが、座学やWEBによる学習に変更
7. 方法については検討中である
8. その他（具体的に： _____）

※鉄道の日やバスの日、海の日などに合わせた公共交通に親しんでもらうためのイベント
（例：バスまつりなど）

→副問 5.2 もご回答ください。

副問 5.2 (1) で「1」「2」「3」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響で、学校の授業・イベント自体が縮小されている中において、交通環境学習を実施する理由は何ですか？（いくつでも）

1. 身のまわりの交通に関する知識を学習するため
2. 公共交通の利用促進を図るため
3. 人や社会、環境にやさしい行動を取ることができる人材の育成を目指しているため
4. 他の教科では学習することができない内容・能力の強化を目指すため
5. 自治体・交通事業者等からの要請があったため
6. その他（具体的に： _____）

→6 ページ問6へお進みください。

副問 5.3 (1)で「4」「5」とお答えの方にお伺いします。
今年度、「交通環境学習」に取り組まない、または取り組むかわからない理由について教えてください。(1つに〇)

1. 新型コロナウイルスの影響のため →副問 5.4へ

2. 新型コロナウイルスの影響以外の理由のため

(具体的な理由：)

3. これまで実施したことがないから

4. その他 (具体的に：)

→ 6 ページ問6へお進みください。

副問 5.4 副問で 5.3 「1」とお答えの方にお伺いします。

新型コロナウイルスの影響により交通環境学習が実施できない具体的な理由としては、どのようなものがありますか？(いくつでも)

1. 遠足、校外学習、修学旅行等がなくなり、学校行事として公共交通を利用する機会がなくなったため

2. 3密対策の取組みのため全校生徒・全学年を集めた授業が難しいため

3. 接触機会削減の取組みのため外部から講師を招聘することが難しいため

4. 全体的な授業数が減っており、他の教科の学習を優先する必要があるため

5. 交通事業者等の協力を得られなかったため

6. その他 (具体的に：)

→6 ページ問6へお進みください。

■ 「交通環境学習」の普及・推進について

問6 学習のデジタル化として貴教育委員会で導入（もしくは導入を検討）されており、交通環境学習への活用が期待される機器はありますか？（いくつでも）

1. 児童・生徒用コンピュータ
2. 児童・生徒用タブレット端末
3. 電子黒板
4. その他（具体的に： _____）

問7 交通エコロジー・モビリティ財団が調査した結果、公共交通を教材に用いた「交通環境学習」に取り組む学校は、全国で少しずつ増えています。

また、教育委員会と自治体が連携して「交通環境学習」の教育的効果を考え、授業に活かしている地域もあります。

貴教育委員会としては、「交通環境学習」を普及・推進することに対して、どのように思われますか。

具体的に：

■ ご回答者について

- 本アンケートのご回答者をご記入ください

※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

教育委員会名					
回答者の氏名			所属部署・役職		
TEL		FAX		e-mail	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、**11月18日(金)**までに、
インターネット、メール、FAXのいずれかで返送願います。